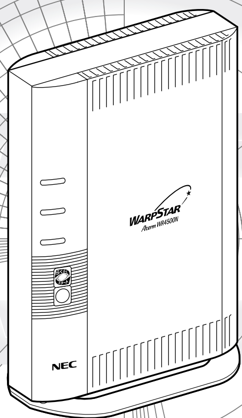
WARPSTAR

NEC

Aterm® WR4500N

取扱説明書 第1版



align ATHEROS

- 本書をお読みになる前に別冊「つなぎかたガイド」をご覧ください。インターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。
- 「ソフトウェアのご使用条件」は、5ページに記載されています。添付CD-ROMを開封する前に必ずお読みください。

はじめに

この度はAterm WARPSTAR（エーターム ワープスター）シリーズをお買い上げいただきまことにありがとうございます。
Aterm WR4500N（以下、無線LANアクセスポイント（親機）と呼びます）は、IEEE802.11b、IEEE802.11gの無線LAN規格に準拠したワイヤレスブロードバンドルータです。
本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。
本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

つなぎかたガイド(小冊子)

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。

取扱説明書(本書)

本商品の基本機能についての説明書です。

機能詳細ガイド(HTMLファイル)

本書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。
「機能詳細ガイド」はホームページに掲載されています。下記URLからご覧ください。
AtermStation(http://121ware.com/aterm/)より、[サポートデスク]－[機能詳細ガイド]を選択してください。

お知らせ

●本文中では、本商品をそれぞれ次のように呼びます。

本商品の名称	本文中で使用している名前
WARPSTARベース	無線LANアクセスポイント（親機）
Aterm WR4500N	WR4500N（親機）
WARPSTARサテライト	無線LAN端末（子機）
Aterm WL300NU-G	WL300NU-G（無線USBスティック）

■電波に関する注意事項

- IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
  2.4GHz帯使用のBluetooth機器との通信はできません。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。

2.4	DS/OF	4
■	■	■

2.4　:2.4GHz帯を使用する無線設備を示す
DS/OF:DS-SS方式およびOFDM方式を示す
4　:想定される干渉距離が40m以下であることを示す
■■■　:全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

（1）本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2）万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求めいただきありがとうございます。
本商品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC ・ NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・ NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

（1） 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
（2） お客様は 1 ケ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
（3） 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
（4） 許諾プログラムの使用権は、上記（2）または（3）により終了するまで有効に存続します。
（5） 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件に基づくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、ただちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

（1） お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
（2） お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

（1） お客様は、滅失、毀損などに備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。
（2） お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。

（3） 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転など

（1） お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有する Aterm シリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料をすべて引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。

（2） お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイルなど

（1） お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

（1） 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。

（2） 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から 1 年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により為した場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。

（3） 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から 14 日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

（1） 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害についていっさい責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになった Aterm シリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

（1） お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。

（2） 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

⚠ 警　告	：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注　意	：人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号

発火注意　感電注意

■ 行為を禁止する記号

一般禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止　火気禁止

■ 行為を指示する記号

電源プラグをコンセントから抜け

⚠ 警　告

電源

- AC100V の家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。
差込口が２つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品の AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。

⚠ 警　告

- ACアダプタは必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。
- 本商品添付のACアダプタは日本国内AC100V（50/60Hz）の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。ACアダプタは、容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。

こんなときは

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。
- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。
- 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

⚠ 警 告

禁止事項

- 本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因になることがあります。
  また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
  人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠注　意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
  また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
  ・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  ・じゅうたんや布団の上に置く
  ・テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、本商品を縦置きで使用する場合は、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の両側は十分なスペースを確保してください。
- 本商品は、横置きにはしないでください。通風孔がふさがれ、内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因になります。
- 本商品は垂直面以外の壁や天井などには取り付けないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因になります。

⚠注　意

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグをもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品のACアダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後、ACアダプタは、高温になる場合があり、やけどなどのおそれがありますので注意してください。
- 本商品の使用中、長時間にわたり一定箇所を触れたままになっていると低温やけどを起こす可能性があります。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 「つなぎかたガイド」に従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・ＡＶ ・ＯＡ 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
  - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを1m以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジ、他のアクセスポイントなど、電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。
- 本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。

お願い

- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろのお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
  ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布で拭き取ってください。

その他のご注意

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。
- 本商品プラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。
  プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。
  安心してお使いください。

無線LANに関する注意

- 最大150Mbps（規格値）や最大54Mbps（規格値）、最大11Mbps（規格値）は、IEEE802.11の無線LAN規格で定められたデータ転送クロックの最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）ではありません。
- 無線LANの伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

目　次

「機能詳細ガイド」目次

本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」がホームページにて掲載されています。以下に記載されている項目を示します。

機能詳細ガイド：AtermStation（http://121ware.com/aterm/）より、[サポートデスク] ─ [機能詳細ガイド] を選択してください。

〈機能一覧〉

■ルータ機能■

ブロードバンドルータ機能
ポートマッピング（アドバンスドNATオプション）
DNSルーティング
ダイナミックポートコントロール機能
DNS フォワーディング
悪質サイトブロック機能
無線LANアクセスポイントモード（ルータ機能を停止する）
DMZホスト機能
アドバンスドNAT（IP マスカレード/NAPT）
静的ルーティング
IP パケットフィルタリング
DHCP サーバ機能
不正アクセス検出機能
通信情報ログ（アクセスログ機能）
UPnP 機能

■ WAN 側機能■

らくらくネットスタート機能
IPv6 ブリッジ機能
VPNパススルー機能
PPPoE ブリッジ
PPPoE マルチセッション
PPPキープアライブ

■パソコンインタフェース■

100BASE-TX/10BASE-T スイッチングHUB（4 ポート）

■無線機能■

11nテクノロジー無線LAN
IEEE802.11b 無線LAN
暗号化
ネットワーク名（SSID）によるセキュリティ機能
マルチ SSID
AirMac 対応のパソコンでインターネット接続
らくらく無線スタートEX 機能
ストリーミングモード
デュアルチャネル
IEEE802.11g 無線LAN
MACアドレスフィルタリング機能
ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）
オートチャネルセレクト
らくらく無線スタート機能
強制アクセスポイント（AP）モード

■その他の機能■

管理者パスワードの変更
通信確認（疎通確認テスト）
ファームウェアの更新
時刻設定
情報表示（装置情報、状態表示）

〈クイック設定Webの使い方〉

〈無線機能の使い方〉

機能一覧（無線）
ユーティリティの使い方
無線セキュリティ
クイック設定Webの使い方（無線）
無線LAN端末（子機）の使い方

〈高度な使い方〉

外部にサーバを公開する
ファイルとプリンタの共有
ネットワーク対応アプリケーション

〈お困りのときには〉

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。詳細は、「メニュー画面」の「この CD-ROM について」をご覧ください。

① 無線 USB スティックの無線 LAN のセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」（Windows® 版）
② 無線 USB スティック用のドライバー式（Windows® 版）
③ 無線 LAN 内蔵パソコンから無線接続を行う「らくらく無線スタート EX」（Windows Vista® および Windows® XP（Service Pack 2 または 3）のみ）

【ご使用上のご注意】

● Windows Vista® の場合、添付の CD-ROM をセットして［自動再生］画面が表示されたら、［Menu.exe の実行］をクリックしてください。
● 添付の CD-ROM をセットしても「メニュー画面」が起動しない場合は、以下の操作を行います。
　① ［スタート］（Windows® のロゴボタン）をクリックし、［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［ファイル名を指定して実行］を選択する
　　※Windows ® XP/2000 Professional の場合は、［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する
　② 名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥menu.exe と入力し、［OK］をクリックする
　　（例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q：¥menu.exe）
　また、パソコンにより異なりますが、自動起動しないようにするには、P96 を参照してください。
● CD-ROM をパソコンから取り出す時は、「メニュー画面」を閉じたあとに行ってください。
● Windows Vista® および Windows® XP/2000 Professional でサテライトマネージャ、ドライバのアンインストールを実行する場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。
● 「メニュー画面」とサテライトマネージャの画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、Alt キーを押しながら、Tab キーを押すことで画面を切り替えることができます。

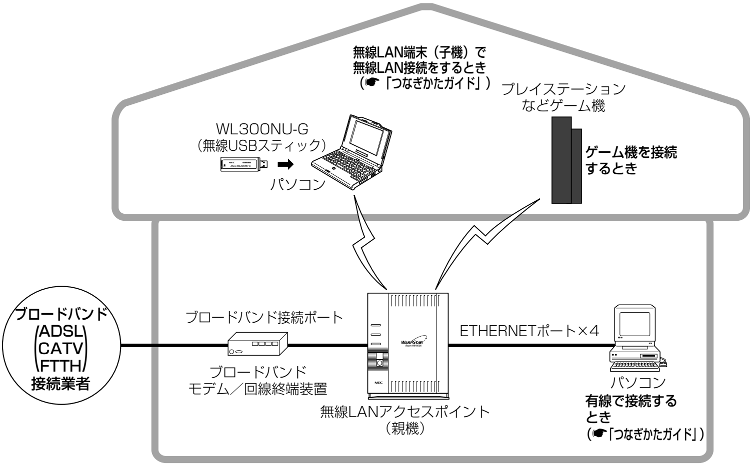
■ CD-ROM の動作環境

● **Windows Vista® または Windows® XP/2000 Professional が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。**
● **推奨環境**
　・Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
　・ハードディスク容量：40MB 以上を推奨
　・メモリ容量：Windows Vista® の場合、512MB 以上を推奨
　　　　　　　Windows® XP/2000 Professional の場合、256MB 以上を推奨
　・800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ
　　上記以外でも設定できますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

※本商品の対応 OS については、P31 を参照してください。

本商品でできること

本商品は、外付け ADSL モデム／ CATV ケーブルモデム／ FTTH 回線終端装置に接続して、複数の機器で同時にインターネットを利用できるブロードバンドルータです。



無線 LAN 端末（子機）から設定する場合の設定方法については、「つなぎかたガイド」を参照してください。
本商品では、さらにホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」で記載している機能をご利用になることができます。設定方法については、それぞれの参照先をご覧ください。

お知らせ

●本書では、機器名称を次のように呼びます。

機器名称	本文中で使用している名称
ADSL モデム、CATV ケーブルモデム	ブロードバンドモデム
FTTH 回線終端装置	回線終端装置

■無線LAN通信

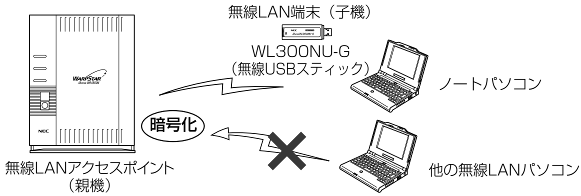
● **IEEE802.11g、IEEE802.11bまたはDraft IEEE802.11nに対応した無線LAN端末（子機）と無線通信を行うことができます。**

※無線で届く範囲は環境によって異なります。
※Draft IEEE802.11nに対応した無線LAN端末（子機）と無線通信する場合、伝送速度は最大150Mbps（規格値）となります。

● **無線LAN内のセキュリティ対策**

他の無線LANパソコンから接続されたり、通信が傍受されるのを防ぎます。（☛P56）

※本商品にはあらかじめ、プライマリSSIDにはAES、セカンダリSSIDにはWEPの暗号化キーが設定されており、セキュリティがほどこされています。



● **無線LAN端末（子機）を増設する（機能詳細ガイド）**

無線LAN端末（子機）として別売りの次の機器を増設できます。

11nテクノロジーでの通信	：	WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/WL300NU-G
IEEE802.11b通信	：	WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/WL54GC/WL54GU/WL54SC/WL54SC2/WL54AG/WL300NU-G/WL54SU/WL54SU2/WL54TU/WL54SE/WL54SE2/WL54TE/WL11CB/WL11CA/WL11C2/WL11C/WL11U/WL11U（W）/WL11E2
IEEE802.11g通信	：	WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/WL54GC/WL54GU/WL54SC/WL54SC2/WL54AG/WL300NU-G/WL54SU/WL54SU2/WL54TU/WL54SE/WL54SE2/WL54TE

※11nテクノロジーでの通信でWL130NCを増設した場合は、デュアルチャネルモード（HT40）の通信はできません。HT20での通信になります。
※WL54AG-SD、WL54AG（S）はWL54AGに含まれます。
※接続する無線LAN端末（子機）によって通信速度が異なります。
※WL11E2を接続する場合、セカンダリSSIDを指定し、設定されているWEPの暗号化キー（英数13桁）を16進数26桁に読み替えて設定してください。
※WL11CA/WL11CB/WL11C2を接続する場合、セカンダリSSIDを指定し、設定されているWEPの暗号化キー（英数13桁）に設定してください。

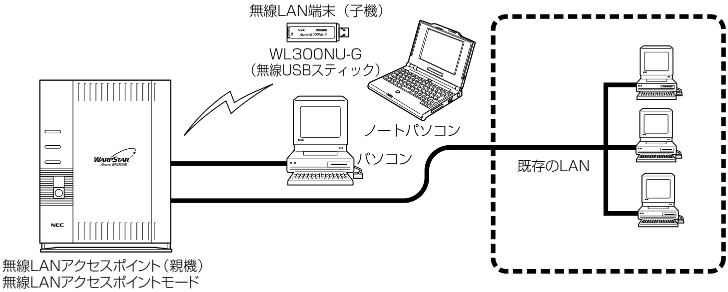
また、無線LANアクセスポイント（親機）が使用している通信規格と同じ通信規格の無線LAN内蔵パソコンを増設できます。（パソコンの機種により、機能制限があったり、接続できない場合があります。）

無線LANは、10台以下でのご使用をお勧めします。

■本商品を無線 LAN アクセスポイントとして使う

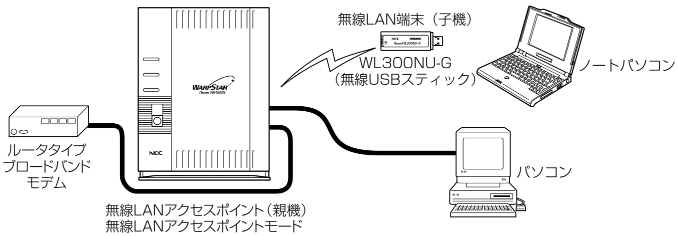
●既存 LAN に接続する場合

既存 LAN に有線・無線で接続する場合に、本商品のルータ機能を停止してハブや無線 LAN アクセスポイントとして使用することができます。（☛P68、72）



●ルータに接続する場合

別途ご利用のルータタイプのブロードバンドモデムに接続するときには、本商品のルータ機能を停止して無線 LAN アクセスポイントモードで接続します。（Ⓦ機能詳細ガイド）



■セキュリティ対策をする

ルータ機能により、ブロードバンド回線側からの不正なアクセスについてセキュリティ対策をすることができます。（Ⓦ機能詳細ガイド）

- IP パケットフィルタリング
- 不正アクセス検出機能
- インターネット悪質サイトブロック
- アドバンスド NAT（IP マスカレード／NAPT）
- ダイナミックポートコントロール機能

■マルチSSID

本商品では2つのSSID（プライマリ／セカンダリ）を利用可能です。（機能詳細ガイド）

●プライマリSSID
（初期値：本商品底面ラベルに記載されている「ネットワーク名（SSID）」、WARPSTAR-xxxxxx）
暗号化方式としてWEP/TKIP/AESが利用可能。（初期値はAES）
AESが設定されている場合のみ、11nテクノロジーによる高速通信が利用可能。

●セカンダリSSID
（初期値：本商品底面ラベルに記載されている「ネットワーク名（SSID）」の末尾に「-W」がついたもの、WARPSTAR-xxxxxx-W）
暗号化方式としてWEPのみ利用可能。（初期値は128bitWEP）
11nテクノロジーによる高速通信は利用不可。

両SSIDは同時に動作しているため、AESを利用可能な無線LAN端末（子機）と、ニンテンドーDSなどWEPのみが利用可能な無線LAN端末（子機）が共存可能です。

なお、らくらく無線スタート利用時には、無線LAN端末（子機）の無線LAN規格に応じて、どちらのSSIDに接続するかは自動選択・設定されますので、通常、2つのSSIDの存在を意識していただく必要はありません。

■デュアルチャネル

本商品では、無線LAN通信で利用する通信チャネルの幅を、従来の20MHz幅から40MHz幅に拡大することにより、従来比約2倍の通信速度（理論値最大150Mbps）を実現するデュアルチャネル通信機能を搭載しています。（初期値は有効）
本商品でデュアルチャネル通信機能が利用可能な周波数帯は、2.4GHz帯（計7チャネル）です。（機能詳細ガイド）

■オートチャネルセレクト

本商品の起動時に、周囲にあるアクセスポイントを検出し、2.4GHz帯で電波状態の良いチャネルを自動選択します。（機能詳細ガイド）

■ゲーム機を接続する

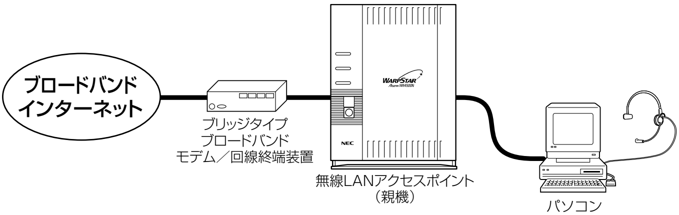
Wii、ニンテンドーDS、“PlayStation 3”および“Xbox 360”などネットワークゲーム機を接続することができます。
使用するゲーム機やゲームソフトがPPPoEでの通信を前提としている場合は、PPPoEブリッジ機能（機能詳細ガイド）で接続できます。（※使用する回線がPPPoE接続方式の場合のみ）

■パソコンのネットワークゲームや TV 電話を利用する

次の機能を利用して、ネットワークゲームをすることができます。

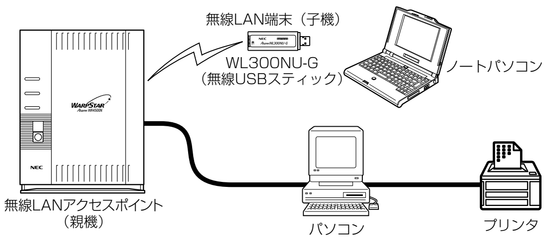
- ポートマッピングの設定（☛P67）
- PPPoE ブリッジ機能（☛P65）
- IPv6 ブリッジ機能（☛P66）

また、UPnP 機能を使用して Windows Vista® の “Windows Live™ Messenger”、Windows® XP の “Windows Messenger” サービスなどで TV 電話などの機能をご利用になれます。（☛P67）



■ファイルやプリンタを他のパソコンと共有する

（機能詳細ガイド）



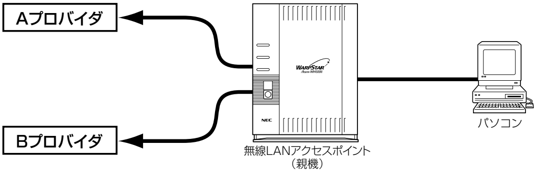
※本商品の機能ではありません。Windows® の 共有機能の設定になります。

■インターネットの通信を切断する

- クイック設定 Web の［情報］－［現在の状態］で切断できます。（自動で再接続を行います。）（機能詳細ガイド）

■複数のアクセス先（プロバイダ）を設定する

クイック設定 Web で複数の接続先を登録できます。



●PPPoE マルチセッション（☛P64）

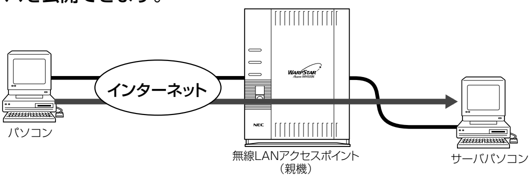
1 つの回線契約で複数（最大 5 セッション）の接続先へ同時に接続を行うことができます。

※ご利用の接続事業者やプロバイダとの契約内容で、マルチセッション接続が許可されている必要があります。
同時に接続できるセッション数は契約内容により異なりますので、ご利用の接続事業者やプロバイダにご確認ください。

■SOHO で使用するときに便利な機能

●ホームページを公開するなど、外部にサーバを公開する
（機能詳細ガイド）

ポートマッピング（アドバンスド NAT オプション）、DMZ ホスト機能を利用して外部にサーバを公開できます。



●会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN に接続する
（VPN（PPTP/IPsec）パススルー機能）（機能詳細ガイド）

VPN（Virtual Private Network ：仮想閉域網）に PPTP/IPsec で接続できます。

■知っておくと便利な機能

●バージョンアップする（☛P74）

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、新しい機能を追加したり、場合によっては動作を改善します。

●設定を保存する（機能詳細ガイド）

クイック設定 Web で、現在の設定内容を保存できます。無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化した場合に、保存済みのバックアップファイルから無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定内容を復元することができます。

●初期化する（☛P97）

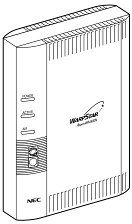
設定内容を工場出荷の状態に戻します。
うまく動作しない場合や、もう一度初めから設定したいときにお使いいただけます。

箱の中身を確認しよう

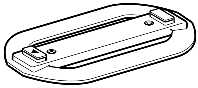
設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別紙に示すお問い合わせ先にご連絡ください。

●構成品

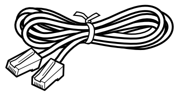
□WR4500N
無線LANアクセスポイント
（親機）



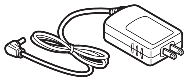
□WR4500N用
スタンド



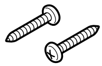
□ETHERNETケーブル
（ストレート）



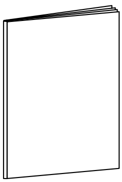
□WR4500N用
ACアダプタ



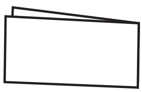
□壁掛け用ネジ



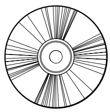
□取扱説明書（本書）



□つなぎかたガイド

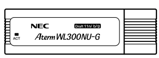


□CD-ROM
（ユーティリティ集）

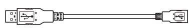


□保証書
（取扱説明書に含む）

□WL300NU-G
無線USBスティック
※USBスティックセットのみ添付されています。

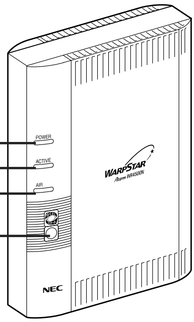


□USBフレキシブルケーブル



各部の名称とはたらき

WR4500N（親機）



【ランプ表示】

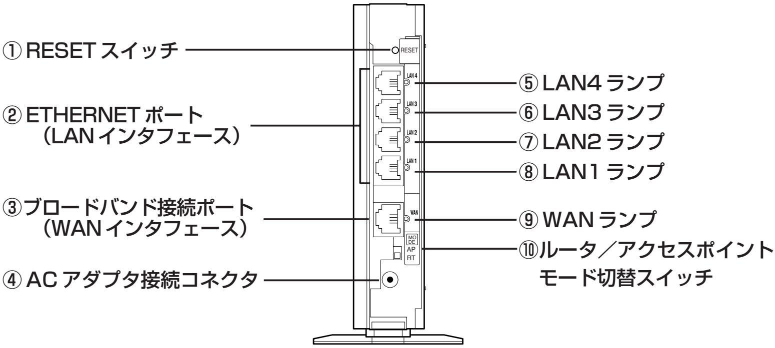
ランプの種類	ランプの色(つきかた)	本商品の状態
① POWER ランプ（電源）	緑（点灯）	電源が入っているとき、またはらくらくネットスタートでローカルルータモード／無線 LAN アクセスポイントモードを検出したとき
	緑（遅い点滅）	らくらくネットスタートモード認識中
	橙（点灯）	ファームウェアをバージョンアップしているとき、またはらくらく無線スタートの設定が完了したとき
	橙（点滅）	らくらくネットスタートで PPPoE モードを検出したとき
	緑（点滅）／橙（点滅）	らくらく無線スタートで設定をしているとき（☛「つなぎかたガイド」参照）
	赤（点滅）	初期化準備状態のとき、またはらくらくネットスタートで認識失敗したとき
	赤（点灯）	らくらく無線スタートで設定が失敗したとき
	消灯	電源が入ってないとき
② ACTIVE ランプ（通信状態表示）	緑（点灯）	PPPoE ルータモードで PPP リンクが確立しているとき、またはローカルルータモードで WAN 側に IP アドレスが設定されているとき
	橙（点灯）	動作モードが無線 LAN アクセスポイントモードのとき
	橙（点滅）	らくらくネットスタートで PPPoE モードを検出したとき アクセスポイントモードで IP アドレスを競合検出したとき
	緑（速い点滅）	動作モードが PPPoE モードの場合に相手からの応答を確認しているとき（☛P83）
	緑（遅い点滅）	らくらくネットスタートモード認識中または動作モードが PPPoE モードの場合に PPP 認証を再確認しているとき（1 秒間隔）（☛P83）

ランプの種類	ランプの色(つきかた)	本商品の状態
② ACTIVE ランプ（通信状態表示）	赤（点滅）	らくらくネットスタートで認識失敗したとき
	消灯	PPPoE 接続で PPP リンクが確立していない、または WAN 側に IP アドレスが設定されていないとき
③ AIR ランプ（無線通信状態表示）	緑（点灯）	IEEE802.11bg+（11n テクノロジー）モードで通信可能なとき
	緑（速い点滅）	IEEE802.11bg+（11n テクノロジー）モードでデータ送受信しているとき
	緑（遅い点滅）	らくらくネットスタートモード認識中
	橙（点滅）	らくらくネットスタートで PPPoE モードを検出したとき
	赤（点滅）	らくらくネットスタートで認識失敗したとき
	消灯	無線 LAN を使用しないとき

【設定ボタン】

名　称	説　明
らくらくスタートボタン	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。 (☛「つなぎかたガイド」参照) らくらくネットスタートを起動するときに使用します。 (☛「つなぎかたガイド」参照)

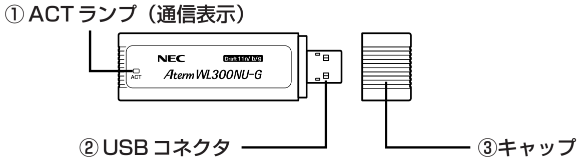
●背面図



名　称	説　明	
①RESET スイッチ	初期化するときに使用します。（☛P98）	
②ETHERNET ポート（LAN インタフェース）	パソコンまたはゲーム機などと接続します。	
③ブロードバンド接続ポート（WAN インタフェース）	ブロードバンドモデム／回線終端装置との接続に使用します。	
④AC アダプタ接続コネクタ	WR4500N 用 AC アダプタを接続します。	
⑤LAN4 ランプ	緑（点灯）	LAN ポート４のリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	LAN ポート４がデータ送受信しているとき
	消灯	LAN ポート４のリンクが確立していないとき
⑥LAN3 ランプ	緑（点灯）	LAN ポート３のリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	LAN ポート３がデータ送受信しているとき
	消灯	LAN ポート３のリンクが確立していないとき
⑦LAN2 ランプ	緑（点灯）	LAN ポート２のリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	LAN ポート２がデータ送受信しているとき
	消灯	LAN ポート２のリンクが確立していないとき
⑧LAN1 ランプ	緑（点灯）	LAN ポート１のリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	LAN ポート１がデータ送受信しているとき
	消灯	LAN ポート１のリンクが確立していないとき
⑨WAN ランプ	緑（点灯）	WAN ポートのリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	WAN ポートがデータ送受信しているとき
	消灯	WAN ポートのリンクが確立していないとき
⑩ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチ	アクセスポイントモード（AP）へ切り替えるときに使用します。（☛P72）	

WL300NU-G（無線 USB スティック）

USB スティックセットにのみ添付されています。



① ACT ランプ

ACT ランプのつきかた	WL300NU-G の状態
速い点滅	通信中
遅い点滅	・通信待機中 （通信可能状態であるが、データ送受信が行われていない） ※ただし、点滅周期が長い場合があります。 ・無線 LAN アクセスポイント（親機）サーチ中 （無線接続が確立されていない）
消灯	電源が入っていないとき （無線機能が「無効」のとき、またはドライバ無効の状態）

② USB コネクタ
パソコンの USB ポート（USB2.0 推奨）に差し込み接続します。

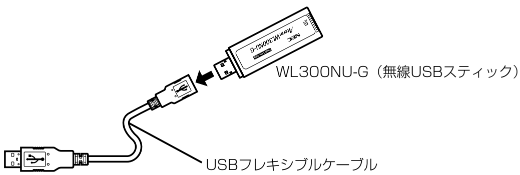
③キャップ
使用するときは、キャップを外してください。

お願い

●WL300NU-G（無線 USB スティック）を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス（Ethernet ポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、1 台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは 1 つだけにしてください。

お知らせ

●折り曲げ可能な USB フレキシブルケーブル（添付品）を接続すると、WL300NU-G（無線 USB スティック）の角度や向きを自由に調整することができます。



あらかじめ確認してください

本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

回線契約とプロバイダの加入について

本商品をお使いの前にあらかじめ回線契約とプロバイダの契約を済ませ、ブロードバンド回線が開通していることを確認してください。
本商品の設定に必要な情報（接続ユーザー名／接続パスワード、IPアドレス）を契約時に入手した接続情報の書類で確認してください。
※接続できるサービスについては、ホームページAtermStationの「サポートデスク」－「動作検証情報」にある「接続確認済ブロードバンド事業者リスト」でご確認ください。

パソコンの準備

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- **WWWブラウザの設定が「ダイヤルしない」になっていること（☛P34）**
- **プロバイダから配付されるPPPoEなどの接続ツールが停止してあること**
- **ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止**
  本商品設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。停止しない（起動したままでいる）と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）
- **クイック設定Webで設定を行う場合は、JavaScriptを有効にする設定にしておいてください。（☛P35）**

〈無線LANアクセスポイント（親機）のETHERNETポートに有線で接続する場合〉

- **ETHERNETポート（LANポート）を装備していること**
  お使いのパソコンにETHERNETポートがない場合は、本商品の設置を始める前に、100BASE-TX/10BASE-T対応のLANボードまたはLANカードを取り付けておいてください。
- **TCP/IPプロトコルスタックに対応していること**
  必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。Windows® の場合のインストール方法はホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」「ファイルとプリンタの共有」を参照してください。
- **パソコンのネットワークの設定を確認すること（☛P32）**

〈WL300NU-G（無線USBスティック）から無線で接続する場合〉

- **USBポート（USB2.0推奨）を装備していること**
  ※USBポート1.1の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0でのご使用をお勧めします。動作確認パソコンはAterm Station（http://121.ware.com/aterm/）をご覧ください。
  WL300NU-G（無線USBスティック）のUSBハブとの接続は保証の限りではありません。

〈接続可能な機器〉

OS など	無線 LAN アクセスポイント（親機）のETHERNET ポート	WL300NU-G（無線 USB スティック）
Windows®	○	○ Windows Vista® および Windows® XP/2000 Professional（日本語版）のみ
Macintosh	○	×
その他 OS（Linux など）	○	×
ゲーム機	○	×

※ Windows Vista® をご利用の場合
本商品は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版のみに対応しています。
Windows Vista® がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコンまたはメーカーが Windows Vista® の利用を保証しているパソコンのみサポートしています。
自作のパソコンはサポートしておりません。

お願い

● OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめホームページ AtermStation から本商品の最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

パソコンのネットワークの確認（有線接続の場合）

パソコンのネットワークの設定が、Windows® の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows Vista® の場合

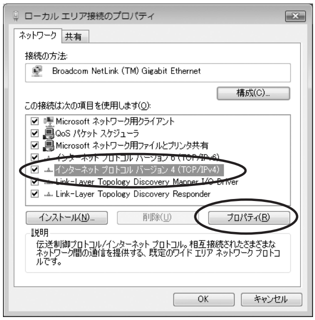
1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］をクリックし、［タスク］欄の［ネットワーク接続の管理］をクリックする

3 ［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］をクリックする

5 ［インターネットプロトコル　バージョン４（TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックする



6 ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する

7 ［OK］をクリックする

8 ［OK］または［閉じる］をクリックする

お知らせ

- Windows Vista® の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows Vista® の通常表示モード（コントロールパネルホーム）を前提に記述しています。

Windows® XPをご利用の場合

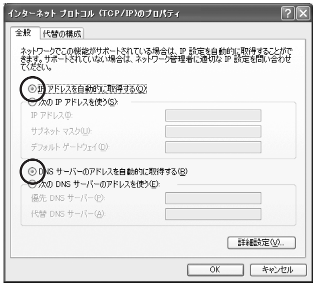
1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［ネットワーク接続］をクリックする

3 ［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4 ［全般］タブをクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックする

5 ［IPアドレスを自動的に取得する］と［DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する



6 ［OK］をクリックする

7 ［OK］をクリックする

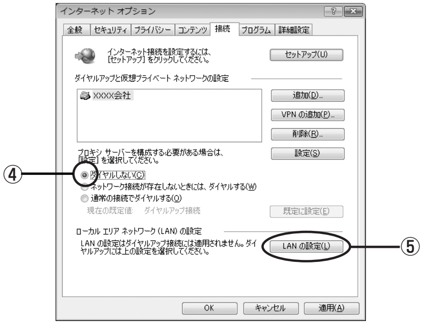
お知らせ

- Windows® XPの設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows® XPの通常表示モード（カテゴリー表示）を前提に記述しています。

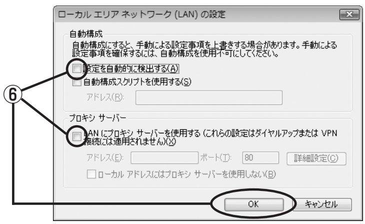
WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ（Internet Explorer など）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。
以下は Windows Vista® で Internet Explorer 7.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

① Internet Explorer を起動する。
② ［ツール］の［インターネットオプション］を選択する。
③ ［接続］タブをクリックする。
④ ダイヤルアップの設定の欄で、［ダイヤルしない］を選択する。



⑤ ［LAN の設定］をクリックする。
⑥ 「設定を自動的に検出する」と［LAN にプロキシサーバーを使用する］の ☑ を外して［OK］をクリックする。
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。



⑦ ［OK］をクリックする。

お知らせ

● プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScriptの設定を確認する

WWWブラウザ（クイック設定Web）で設定を行うにはJavaScriptの設定を有効にする必要があります。
※ WWWブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順でJavaScriptを「有効にする」に設定してください。

Windows® でInternet Explorerをご利用の場合

以下は、Windows Vista® でInternet Explorer 7.0を使用している場合の例です。なお、Windows® XP/2000 Professionalで設定する場合も、下記と同様の手順で設定できます。

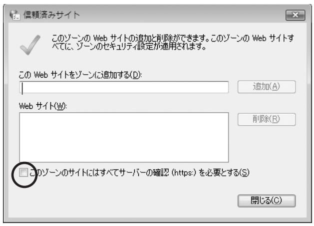
1 **［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［クラシック表示］（Windows® XPの場合は［クラシック表示に切り替える］）－［インターネットオプション］をダブルクリックする**

※ Windows® 2000の場合は、［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［インターネットオプション］をダブルクリックします。

2 **［セキュリティ］タブをクリックし、［信頼済みサイト］をクリックする**

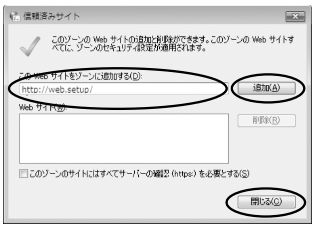
3 **［サイト］をクリックする**

4 **［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする］のチェックを外す**



5 **［このWebサイトをゾーンに追加する］に「http://web.setup/」を入力し［追加］をクリックし、［閉じる］（Internet Explorer 6.0の場合は［OK］）をクリックする**

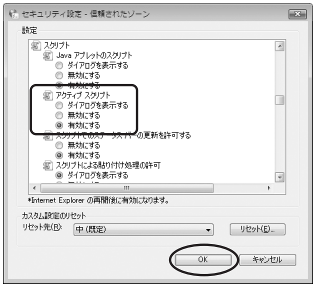
※ IPアドレス（工場出荷時は192.168.0.1）を入力して設定画面を開く場合には、IPアドレスを入力します。（例：「192.168.0.1」）
無線LANアクセスポイントモードに設定した場合は、自動的に設定されたIPアドレスを入力してください。IPアドレスを変更した場合は、設定したIPアドレスを入力してください。
らくらくネットスタートを使用してローカルルータモードを判別した場合は、IPアドレスを192.168.0.1または192.168.1.1と入力してください。



（次ページに続く）

6 ［レベルのカスタマイズ］をクリックする

7 画面をスクロールし、［アクティブ スクリプト］を［有効にする］に変更し、［OK］をクリックする



8 ［OK］をクリックする

Windows® で Firefox をご利用の場合

以下は、Windows® XP で Firefox 1.5 を使用している場合の例です。なお、Windows® 2000 Professional で設定する場合や Firefox 1.5 以上を使用している場合も、下記と同様の手順で設定できます。

1 Firefox を起動する

2 メニューバーの［ツール］－［オプション］をクリックする

3 ［コンテンツ］をクリックする

4 ［JavaScript を有効にする］にチェックを入れる

5 ［OK］をクリックする



Windows® で Opera をご利用の場合の設定方法は「機能詳細ガイド」をご覧ください。

Mac OS でSafariをご利用の場合

以下は、Mac OS でSafari2.0を使用している場合の例です。

1 Safariを起動する

2 メニューバーの［Safari］－［環境設定］をクリックする

3 ［セキュリティ］をクリックする

4 ［JavaScriptを有効にする］にチェックを入れる



5 メニューバーの［Safari］から［Safari終了］をクリックし、Safariを終了させる

Mac OSでFirefoxをご利用の場合、または、Mac OSでOperaをご利用の場合の設定方法は「機能詳細ガイド」をご覧ください。

設定方法について

無線LANアクセスポイント（親機）を無線LANで設定する場合には、「つなぎかたガイド」を参照して無線LANに接続後、らくらくネットスタートで設定してください。
無線LANアクセスポイント（親機）のETHERNETポートに接続したパソコンから設定する場合は、らくらくネットスタートで設定します。

1 ● らくらく無線スタートで無線LAN端末（子機）を設定する

WL300NU-G（無線USBスティック）を接続する場合の設定方法です。
無線LAN端末（子機）のドライバのインストールや無線設定を簡単に行うことができます。設定には、サテライトマネージャのインストールが必要です。

<サテライトマネージャが使用できるパソコン>
Windows Vista® および Windows® XP/2000 Professional（日本語版）

※WL300NU-G（無線USBスティック）はWindows® Me/98、Macintoshではご使用になれません。

※音声ガイドを再生するには、パソコンにWAVファイルが再生可能なサウンドデバイスが必要になります。

※Windows Vista®およびWindows® XP（Service Pack 2または3）を搭載したパソコンの場合、無線LAN内蔵パソコンなどでもらくらく無線スタートEXで設定することができます。

2 ● らくらくネットスタートで無線LANアクセスポイント（親機）を設定する

本商品のインターネット接続のための設定を、らくらくネットスタート機能によって自動的に行うことができます。
らくらくネットスタートは、らくらくスタートボタンを押しながら電源を入れることで、自動的に本商品のＷＡＮ側の回線状態を判別または設定を行う機能です。

3 ● 無線LANアクセスポイント（親機）を手動で設定する（クイック設定Web（WWWブラウザ）で設定する）

らくらくネットスタートで、WAN側回線の判別に失敗したときの設定や詳細な設定を行いたいときに利用します。

WWWブラウザの画面で、無線LANアクセスポイント（親機）のすべての設定が行えます。

※ドライバのインストール、無線LAN端末（子機）の無線設定については行えません。

本商品をご購入後、はじめてクイック設定Webを開くと「らくらくWebウィザード」が表示され、インターネット接続のための基本的な設定を行うことができます。（らくらくネットスタートで設定完了している場合は表示されません）

※WL300NU-G（無線USBスティック）を装着したパソコンから無線接続で設定を行いたい場合は、P39の 1 で無線設定をしておいてください。

<設定できるWWWブラウザ>

■Windows Vista®の場合
Internet Explorer 7.0に対応

■Windows® XPの場合
Internet Explorer 7.0に対応
Internet Explorer 6.0 SP2に対応
（Windows® XP SP2の場合）
Firefox 1.5に対応
Opera 9.0に対応

■Windows® 2000 Professionalの場合
Internet Explorer 6.0 SP1に対応
Firefox 1.5に対応
Opera 9.0に対応

〈画面例〉



■Mac OS X v10.3/v10.4の場合
Safari 2.0に対応（v10.4 Tigerの場合）
Safari 1.3に対応（v10.3 Pantherの場合）
Firefox 1.5に対応
Opera 9.0に対応

■ゲーム系
PSP「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザに対応
※PSP「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザをお使いの場合は、表示モードを標準またはジャストフィットでご利用ください。
※PSP「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザをお使いの場合は、全角文字の指定できる最大文字数が他のブラウザと異なり、入力できる文字数は最大全角21文字です。
ニンテンドーDSブラウザーに対応

無線LANアクセスポイント（親機）を設置する

無線LANアクセスポイント（親機）の置き場所を決めよう

無線LANアクセスポイント（親機）には電源、回線、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。
実際の接続は、「つなぎかたガイド」を参照してください。

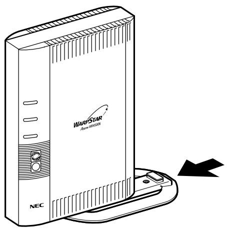
- **無線LANアクセスポイント（親機）はブロードバンドモデム／回線終端装置のそばに置く**
- **無線LANアクセスポイント（親機）用の電源コンセントはあるか？**
  電源コンセントを確保しましょう。
- **無線LAN端末（子機）は無線LANアクセスポイント（親機）から無線で電波の届く距離に置く**
  設定するときは無線LANアクセスポイント（親機）のそばで設定しましょう。

お知らせ

- 無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）は1m以上離してお使いください。
- 近接するアクセスポイントと異なるチャネルに設定してご利用ください。
- 本商品は、アンテナが内蔵されています。設置位置により十分な通信特性が得られない場合があります。

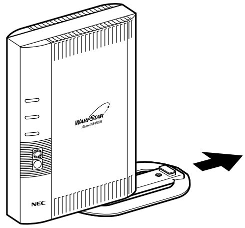
■縦置きの場合

図のようにスタンドを取り付けます。



スタンドを外す場合は

図のように、スタンドを本商品の背面側へスライドさせて、取り外してください

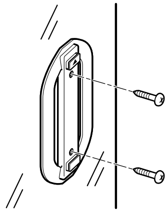


■壁掛けの場合

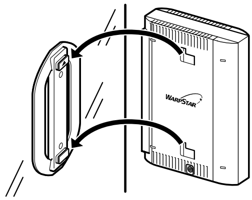
図のように壁に取り付けます。

1 あらかじめ、添付のスタンドを底面が壁側になるように壁掛け用ネジ（添付品）を取り付ける

※スタンドの▲マークが上になるように取り付けてください。



2 図のように取り付ける



お願い

- ●壁掛け設置されているスタンドから取り外す場合は、無線LANアクセスポイント（親機）の両端を持ち、上側に引き上げて取り外してください。
- ●壁掛けの際、装置取り付け時は確実に押し込んでください。
- ●壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- ●壁掛け設置されている状態で、ケーブルの接続やスイッチの操作などを行う際には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながら行ってください。
- ●商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。また、衝撃や振動を加えないでください。
- ●本商品は垂直面以外の壁や天井などには取り付けないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因になります。
- ●本商品は、横置きにはしないでください。通風孔がふさがれ、内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因になります。
- ●本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因になったり、そのまま使用すると火災・感電の原因になることがあります。万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
- ●本商品の上に物を置いたり、重ね置きはしないでください。

無線LAN端末(子機)を接続する場合

ここでは無線LAN端末（子機）を接続する場合の注意事項などについて説明しています。実際の無線LAN端末（子機）の接続や設定は、「つなぎかたガイド」を参照してください。

WL300NU-G（無線USBスティック）で接続する場合

WL300NU-G（無線USBスティック）をパソコンに取り付けるときは、①ドライバのインストール→②無線LANの設定の順で設定を行っていきます。実際の手順は「つなぎかたガイド」を参照してください。

※WL300NU-G（無線USBスティック）を接続できるのはWindows Vista® およびWindows® XP/2000 Professionalのみです。Windows® Me/98、Macintoshではご利用になれません。

※WL300NU-G（無線USBスティック）は、USBポート（USB2.0推奨）を装備したパソコンに取り付けることができます。

【WL300NU-G（無線USBスティック）ご使用上の注意】

●USB1.1の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0でのご使用をお勧めします。動作確認パソコンはAtermStation（http://121ware.com/aterm/）をご覧ください。WL300NU-G（無線USBスティック）のUSBハブとの接続は保証の限りではありません。

●WL300NU-G（無線USBスティック）のUSBコネクタ部分に手を触れないようにしてください。

●USBコネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

●WL300NU-G（無線USBスティック）はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能などにより給電が停止した場合、通信を行う前にWL300NU-G（無線USBスティック）を挿し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。

●他の無線LAN端末（子機）のソフトウェアがインストールされている場合や、ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンで、LANカードおよびLANボード機能を停止させていない場合は、WL300NU-G（無線USBスティック）のドライバが正しくインストールできないことや、正しく通信できないことがあります。他の無線LAN端末（子機）やLANカードおよびLANボード機能を停止させてください。（☛P45、46、47）

●無線LAN内蔵パソコンにWL300NU-G（無線USBスティック）を装着して使う場合は、必ず内蔵無線LANの［デバイスマネージャ］の［ネットワークアダプタ］にある内蔵無線アダプタを［無効］に設定してからご使用ください。

●サテライトマネージャのらくらく無線スタートを起動する前に誤って、WL300NU-G（無線USBスティック）をパソコンに挿入して、ハードウェアウィザードが起動した場合は、［キャンセル］をクリックして、WL300NU-G（無線USBスティック）を取り外してください。

（次ページに続く）

無線LAN端末（子機）を接続する場合

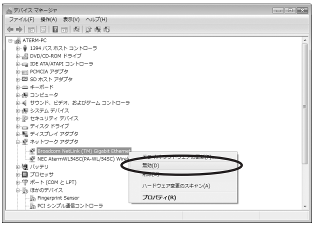
- WL300NU-G（無線USBスティック）と無線LANアクセスポイント（親機）との距離は、1m以上離してお使いください。無線LANアクセスポイント（親機）と近すぎると通信速度が低下する場合があります。
- 隣り合うUSBポートの間隔により、複数のポートを同時に使用できない場合は、USBフレキシブルケーブル（添付品）を接続してご利用ください。（☛P29）
- USBインタフェースにWL300NU-G（無線USBスティック）を接続した場合、電力不足となり、お使いいただけない場合があります。
- WL300NU-G（無線USBスティック）とWL300NC-Gなどの無線LANカードを同時に使用することはできません。同時に接続してしまった場合は、両方をいったん取り外して接続し直してください。それでも動作しない場合は、それぞれのドライバをアンインストールしてから接続し直してください。
- WL300NU-G（無線USBスティック）をパソコンに挿してもランプが点灯せず動作しない場合は、いったんWL300NU-G（無線USBスティック）を抜いたうえで再度挿入してください。

? 他の無線LANカードやLANカードまたはLANボード機能を停止させるには

他の無線LANカードのソフトウェアがインストールされている場合や、ETHERNETインタフェースを搭載したノートパソコンで、LANカードおよびLANボード機能を停止させていない場合は、無線LAN端末（子機）が使用できない場合があります。以下の操作で他の無線LANカードやLANカードまたはLANボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。以下の手順は例です。パソコンによって異なる場合があります。詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。

〈Windows Vista® の場合〉

① ［スタート］（Windows® のロゴボタン）—［コントロールパネル］をクリックする
② ［システムとメンテナンス］－［システム］をクリックする
③ ［タスク］欄の［デバイスマネージャ］をクリックする
④ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］をクリックする
⑤ ［ネットワーク アダプタ］をダブルクリックする
⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する

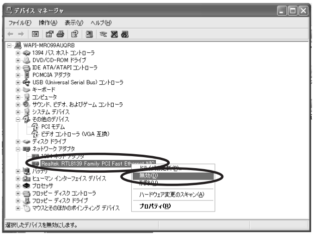


⑦ ［はい］をクリックする

他の無線LANカードやLANカードまたはLANボード機能を停止させるには

〈Windows® XPの場合〉

① ［スタート］―［コントロールパネル］をクリックする
② ［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする
③ ［システム］アイコンをダブルクリックする
④ ［ハードウェア］タブをクリックする
⑤ ［デバイスマネージャ］をクリックする
⑥ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑦ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する

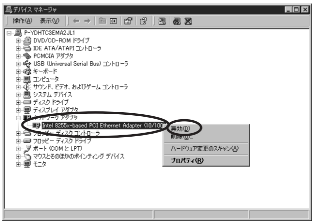


⑧ ［はい］をクリックする

? 他の無線LANカードやLANカードまたはLANボード機能を停止させるには

〈Windows® 2000 Professionalの場合〉

①［スタート］—［設定］—［コントロールパネル］をクリックする
②［システム］アイコンをダブルクリックする
③［ハードウェア］タブをクリックする
④［デバイスマネージャ］をクリックする
⑤［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する



⑦［はい］をクリックする

無線LANアクセスポイント（親機）を手動で設定するには

クイック設定Webをはじめて起動する場合には、管理者パスワードの初期設定の次に、らくらくWebウィザードが起動します。らくらくWebウィザードでは、無線LANアクセスポイント（親機）に接続した回線ごとに動作モードを設定し、インターネットの接続先を登録します。

お願い

●クイック設定Webが起動しない場合は、パソコンのネットワークの設定を見直してください。（☛P32）

お知らせ

●クイック設定Web、らくらくWebウィザードが利用できるWWWブラウザについては、「設定できるWWWブラウザ」（☛P40）を参照してください。
●説明に使用している画面表示は、お使いのWWWブラウザやお使いのOSによって異なります。
●クイック設定Webの画面のデザインは変更になることがあります。

らくらくWebウィザードで設定する

お知らせ

●以下の手順は既にらくらくWebウィザードで本商品の設定が完了している場合は表示されません。
この場合のクイック設定Webでの設定の方法についてはホームページに掲載されている「Ⓦ機能詳細ガイド」を参照してください。

1 **パソコンなどを起動する**

2 **WWWブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定Webのページを開く**

無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを入力して開くこともできます。
（工場出荷時は192.168.0.1です。）
例： http://192.168.0.1/



!

サテライトマネージャをインストールした場合はデスクトップにある［クイック設定Web］のアイコンをダブルクリックします。

3 管理者パスワードの初期設定を行う

画面に従ってパスワードを設定してください。一度設定すると、次回からは、この画面は出なくなります。

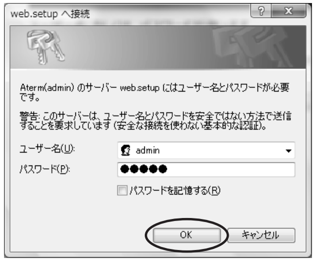
●管理者パスワードは、無線 LAN アクセスポイント（親機）を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。
忘れた場合は設定画面を開くことができず、初期化してすべての設定がやり直しになります。



管理者パスワード控え欄	

4 ［設定］をクリックする

5 ユーザー名に「admin」を、パスワードに手順 3 で入力した「管理者パスワード」を入力し、［OK］をクリックする



6 動作モードを選択し、［次へ］をクリックする

接続事業者（例）（敬称略）ごとに動作モードを選択してください。

●PPPoE ルータを選択する場合

フレッツ・ADSL
B フレッツ
（ルータ内蔵モデムの場合）

ひかり one（旧：TEPCO ひかり）
eo ホームファイバー
commuf@
MEGA EGG
BBIQ ※
USEN（フレッツ回線）
（IP 電話を利用している場合）

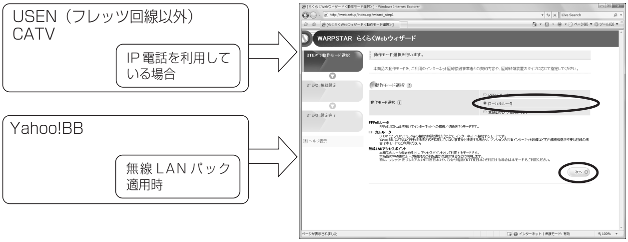


※050 番号の IP 電話を利用している場合は、無線 LAN アクセスポイントモードに設定してください。
050 番号以外の IP 電話を利用している場合は、PPPoE ルータモードに設定してください。

ルータ内蔵モデム、IP 電話を利用している場合は、無線 LAN アクセスポイントをお勧めします。

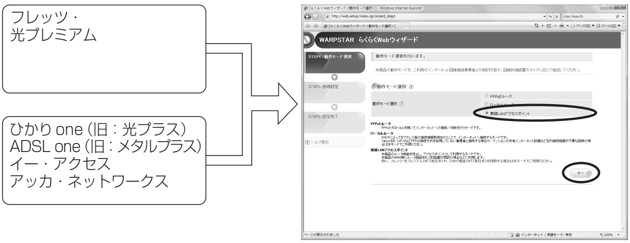
（次ページに続く）

●ローカルルータを選択する場合



IP電話を利用している場合、無線LANパック適用時は、無線LANアクセスポイントをお勧めします。

●無線LANアクセスポイントを選択する場合



お知らせ

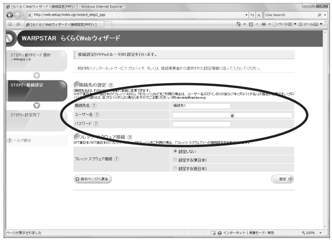
●**動作モードがわからないときは**
接続しているブロードバンドモデムにPPPランプがあり、点灯している場合は、無線LANアクセスポイントに設定して、接続を確認してみてください。

●**ローカルルータと無線LANアクセスポイントの動作モードの違いは、次の通りです。**

	お勧めの環境	制限事項など
ローカルルータモード	ルータを多重化接続してセキュリティを高めたい場合	無線LANアクセスポイント（親機）のルータ機能をご利用いただけますが、ブロードバンドモデムと設定が競合するため、正しく動作しない場合があります。
無線LANアクセスポイントモード	ルータを多重化することにより回線がもつスループットを十分に引き出せない場合	無線LANアクセスポイント（親機）のルータ機能は停止されます。ブロードバンドモデムのルータ機能をご利用いただけます。悪質サイトブロックは、ご利用いただけません。

7 表示される画面に合わせて、インターネット接続に必要な情報を入力する

●接続先設定〈PPPoE〉の場合



①［接続先名］にプロバイダの名称など接続先としてわかる名称を入力する。
好きな名称でかまいません。

②接続事業者／プロバイダからの情報に従って「ユーザー名」
（例： XXXXX@biglobe.ne.jp など）と「パスワード」を入力する。
接続事業者／プロバイダとの契約時に入手した接続情報の書類で確認してください。

③フレッツ・スクウェアの接続先登録を行うかどうかの選択をします。
※「B フレッツ」「フレッツ・ ADSL」をご利用の場合のみ選択します。
静的ルーティングの設定も自動的に行われます。

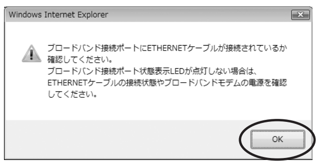
●接続先設定〈ローカルルータ〉の場合



ご加入の接続事業者の案内に従って入力してください。接続事業者の案内に何も記載されていない場合は何も設定する必要はありません。

!

次の画面が表示された場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）のブロードバンドモデムの接続を確認し、［OK］をクリックします。



（次ページに続く）

DHCPクライアント機能：
WAN側のIPアドレスを自動で取得する場合は［使用する］に☑します。接続事業者から固定のIPアドレスを指定されている場合はチェックを外してください。

IPアドレス/ネットマスク：
接続事業者から固定IPアドレスを指定されている場合は、そのIPアドレス、ネットマスクを入力します。WAN側をDHCPクライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

ゲートウェイ：
接続事業者から指定されている場合は［使用する］の☑を外し、［固定アドレス］に入力します。特に指定されていない場合は特に指定する必要はありません。

ネームサーバ：
サーバから自動で取得する場合は、［使用する］に☑します。接続事業者から指定されている場合は、チェックを外し、そのアドレスを入力します。

ドメイン名／ホスト名：
接続事業者からドメイン名、ホスト名を指定されている場合は、その名前を入力します。特に指定がない場合は、空欄のままでかまいません。

●無線LANアクセスポイント設定の場合

「IPアドレス自動補正機能」の［使用する］の☑を外し、ご使用の環境に合わせて無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレス／ネットマスクを設定します。

（例）ルータタイプのADSLモデムのIPアドレスが「192.168.0.1」の場合

IPアドレス　：192.168.0.211など

ADSLモデムと同じ値（192.168.0）　他の機器で未使用の値（211）

ネットマスク：255.255.255.0

※フレッツ・光プレミアムに接続する際は、IPアドレスを「192.168.24.211」に設定してください。



※あとからクイック設定Webのページを開くには、WWWブラウザのアドレス欄に、ここで設定したIPアドレスを入力します。
例：http://192.168.0.211/
（http://web.setup/やデスクトップの「クイック設定Web」のアイコンからは開けなくなりますのでご注意ください。）

8　入力が完了したら、［設定］をクリックする

これでインターネット接続のための基本設定は完了です。

！ *インターネット接続の設定（らくらくWebウィザード）をもう一度行いたい場合は*

らくらくWebウィザードは、無線LANアクセスポイント（親機）をはじめて設定する場合のみ表示されます。もう一度設定する場合は、一度初期化してから設定を行ってください。（☛P97）なお、初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。

クイック設定 Web で設定を行うには

クイック設定 Web で設定を行うには、あらかじめ無線 LAN アクセスポイント（親機）とパソコンとの通信ができる状態にしておく必要があります。

無線 LAN 端末（子機）から設定を行う場合は、「つなぎかたガイド」を参照して無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線設定が完了してから設定してください。

お知らせ

●クイック設定 Web、らくらく Web ウィザードが利用できる WWW ブラウザについては、「設定できる WWW ブラウザ」（☛P40）を参照してください。
●説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。
●クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。
●PPPoE の外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に 1 台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらく Web ウィザードまたはクイック設定 Web で設定をしてください。

お願い

●クイック設定 Web の設定は、[登録] をクリックして無線 LAN アクセスポイント（親機）を再起動してからでないと有効になりません。

クイック設定 Web を利用するための準備

無線 LAN アクセスポイント（親機）と接続できているかどうかは、IP アドレスが正しく取得できるかどうかで確認することができます。

■IP アドレスの確認方法

＜ Windows Vista® および Windows® XP/2000 Professional の場合＞

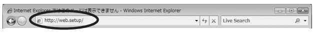
① ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［(すべての) プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする
② “ipconfig /renew”を入力して［Enter］キーを押す
③ IP アドレス（IP Address または IPv4 アドレス）が“192.168.0.XXX”になることを確認する

クイック設定 Web の起動のしかた

クイック設定 Web で設定を行う場合は、次の手順で起動します。
設定方法については、ホームページに掲載されている「Ⓦ機能詳細ガイド」の「クイック設定 Web の使い方」を参照してください。

①パソコンなどを起動する

②WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く



※無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力して開くこともできます。（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）例：http://192.168.0.1/

※無線 LAN アクセスポイントモードに設定した場合は、「ⓘ無線 LAN アクセスポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意」（☛P69）を参照してください。

③次の画面が表示された場合は、画面に従って管理者パスワードの初期設定を行う

※一度設定すると、次回からは、この画面は出なくなります。



●管理者パスワードは、無線 LAN アクセスポイント（親機）を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。
忘れた場合は設定画面を開くことができず、初期化してすべての設定がやり直しになります。

管理者パスワード控え欄	

④ユーザー名とパスワードを入力する

※ユーザー名には「admin」と半角小文字で入力し、パスワードには③で設定した管理者パスワードを入力してください。



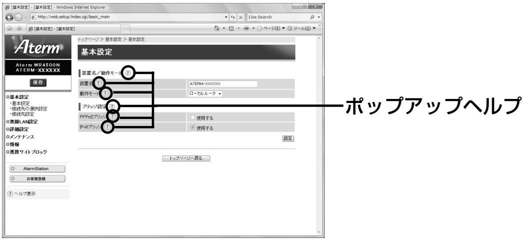
⑤［OK］をクリックする

⑥クイック設定 Web が表示される

※インターネット接続設定が済んでいない場合は、らくらく Web ウィザードが表示されます。
P49 の手順 6 以降を参照してインターネット接続の設定を行ってください。

ポップアップヘルプについて

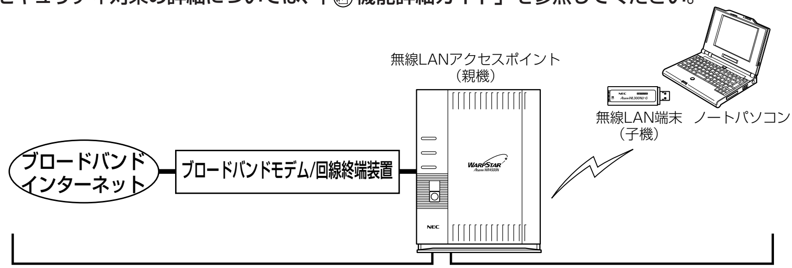
クイック設定 Web を開くと、各項目に ? のポップアップヘルプがあります。
このボタンをクリックすると、各設定項目の内容や、入力条件（文字数など）が表示されます。



セキュリティ対策をする

セキュリティ機能について

本商品には、ブロードバンド（ADSL ／ CATV ／ FTTH 網）からの不正なアクセスを防ぐ「WAN 回線側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「無線 LAN 内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。
セキュリティ対策の詳細については、「機能詳細ガイド」を参照してください。



WAN回線側セキュリティ機能
- IPパケット
  フィルタリング
- アドバンスドNAT
  （IPマスカレード／NAPT）
- 不正アクセス検出機能
- ダイナミックポート
  コントロール機能
- 悪質サイトブロック機能（☛P57）

無線LAN内ネットワークセキュリティ機能
- 暗号化※
- MACアドレスフィルタリング機能
- ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）

※ WR4500N（親機）は、工場出荷時には、AES の暗号化が設定されます。
設定内容（初期値）は、本体底面の設定ラベルを参照してください。

? セキュリティ対策を行うことの重要性について

● インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。
特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。
本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。
また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをお勧めします。

● 無線 LAN 端末（子機）による無線通信を行う場合は、無線 LAN 内のセキュリティを行うことをお勧めします。無線 LAN 内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。
無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われることがあります。

インターネット悪質サイトブロック機能を設定する

悪質サイトブロック機能は、ネットスター株式会社の提供する「インターネット悪質サイトブロックサービス」に対応する機能です。ネットスター社とライセンス契約を行い、パソコンなどのインターネット接続端末ごとに、ブロックレベル（小学生以下、中学生、高校生、大人）を設定することで、悪質なサイトや有害なサイトの表示をブロックし、お客様やお客様のご家族をこれらの危険なサイトから守ることができます。

※「インターネット悪質サイトブロックサービス」は、ルータ機能を利用している場合に有効です。ルータ機能を介さない以下のような端末では無効になりますのでご注意ください。
- ・無線 LAN アクセスポイントモードで利用するとき、接続しているすべての端末
- ・ PPPoE ブリッジ機能、IPv6 ブリッジ機能による通信を行っている端末

Web 設定で、[悪質サイトブロック]－[ライセンス管理]－[お手続き画面へ]をクリックすると、ネットスター社のライセンス申込 TOP ページが表示されます。必ず、このページからライセンス申込を行ってください。本商品のお客様向けに 60 日間のお試し期間が設けられております。

※「インターネット悪質サイトブロックサービス」は、ネットスター株式会社の提供する有償サービスです。本サービスをご利用になった結果に対して、当社は責任を負いかねます。

インターネット悪質サイトブロック機能の設定

●本商品に悪質サイトブロック機能を設定する
ライセンス契約の有無によらず、本機能を「使用する」に設定していないと、本サービスは利用できません。

1 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「悪質サイトブロック設定」画面で［使用する］にチェックを入れる



（次ページに続く）

4 ［設定］をクリックする

5 ［保存］をクリックする

●ライセンスの申し込みをする
本サービスの利用にはライセンスの申し込みが必要です。以下の手順でライセンスの申し込みを行ってください。

1 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く
無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする
ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「ライセンス管理」画面で、[お手続き画面へ] をクリックする
ネットスター社のライセンス申込ページ画面が表示されます。
画面に従って、設定を行ってください。



●ライセンス情報を確認する
ライセンス状態は、以下の手順によりいつでも確認することができます。ただし、ライセンス登録後、その情報が反映されるまで 10 分程度かかる場合があります。

1 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く
無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする
ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「ライセンス管理」画面で、[ライセンス情報確認]をクリックしてライセンス情報を確認する
※ライセンス情報が「正規ライセンス有効」と「試用ライセンス有効」の場合に悪質サイトブロック機能が有効になります。
※48 時間の周期で自動的にライセンス情報を取得し、「正規ライセンス無効」または「試用ライセンス無効」の状態になると、悪質サイトブロックの機能が使用不可能となります。ライセンスの期限が切れた場合は、ライセンスの更新を行ってください。

● IP アドレスを登録する

本サービスを利用するには、利用する端末の IP アドレスと、その端末からのアクセスに適用するブロックレベルを、あらかじめ設定しておく必要があります。(設定していない端末からの悪質サイトへのアクセスをブロックすることはできません。)

1 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント(親機)の IP アドレスを入力しても開きます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)
例: http://192.168.0.1/

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「ブロック対象管理」画面で[追加]をクリックする

※ブロック対象エントリ項目の削除方法
「ブロック対象管理」画面でエントリ一覧に表示されているエントリの中から、削除したいエントリの行末の[削除]をクリックすることで削除できます。

4 プロファイル名、IP アドレス、ブロックレベルを設定する



プロファイル名 : 任意の文字(半角 32 文字以内(“?”を除く)、全角 16 文字以内)を入力します。
IP アドレス : 端末の IP アドレスを入力します。
ブロックレベル : 小学生以下/中学生/高校生/大人から選択します。

5 [設定]をクリックする

6 本機能の対象になる機器が複数ある場合は、手順 3 ~ 5 を繰り返して設定する

7 [保存]をクリックする

お知らせ

●指定した IP アドレスが、DHCP によって別の端末に割り当てられてしまうことを防ぐため、「詳細設定」-「DHCP 固定割当設定」により、インターネット接続端末に固有の IP アドレスを割り当てておくことをお勧めします。設定方法は、機能詳細ガイドをご覧ください。

例外サイトの登録方法

本サービスでブロック対象となっていないサイトの表示を制限したり、逆に、意図せずブロックされたサイトをブロック対象から外すために、そのサイトのURLを例外サイトとして登録することが可能です。

1　WWWブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く

無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

2　ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

3　「悪質サイトブロック」の「例外サイト設定」画面で、[追加]をクリックする

※設定した例外サイトの削除の方法
「例外サイト設定」画面で、エントリ一覧に表示されているエントリの中から、削除したいエントリの行末の［削除］をクリックすることで削除できます。

4　種別を選択し､例外サイトを入力する



種別　　　：［許可］または［禁止］を選択します。

例外サイト：URLを入力してください。（ホスト名：半角最大128文字（“?”を除く）、パス：半角最大256文字（“/”、“＊”を含む、“?”を除く）まで入力できます）

※URLの最後に“＊”を指定して、ワイルドカード指定が可能です。

（例）http://121ware.com/aterm/
　　ホスト名（121ware.com）　パス（/含む）（/aterm/）

※ワイルドカード
ファイル名やディレクトリ名を指定するときに使う、「任意の文字」を意味する特殊文字です。任意の長さの任意の文字を意味します。

5　[設定]をクリックする

6　本機能の対象になるサイトが複数ある場合は、手順３～５を繰り返して設定する

7　[保存]をクリックする

ブロック画面の一時解除方法

本サービスでブロック対象のサイトにアクセスすると、ブロック画面（アクセス制限画面）が表示されます。



[アクセス制限一時解除]をクリックして、クイック設定Web用の管理者IDとパスワードを入力すると、一時的にブロックを解除して、ブロック対象のサイトにアクセスすることができます。

※一時解除される時間は30分です。
※画像のみが規制されることがあります。その場合は画像に×印が表示されます。画像の一時解除はできません。

ネットスター社　お問い合わせ先

「インターネット悪質サイトブロックサービス」についての詳細は、下記URLをご覧ください。
http://gbb.netstar.jp/aterm/
※E-mailのみの受付となりますので、ご了承ください。
（土日祝祭日を除く10 ： 00 ～ 17 ： 00）

「インターネット悪質サイトブロックサービス」設定前のお問い合わせについて
・これからこのサービスの利用をお考えのお客様のご相談
・本サービスの申し込み方法について
・本サービスの仕組みやフィルタリング機能について
・本サービスの提供元ネットスター株式会社について
連絡先： sales_bb@netstar-inc.com

「インターネット悪質サイトブロックサービス」設定後のお問い合わせについて
連絡先： shop_bb@netstar-inc.com

※装置に関する機能や取り扱いなどでご不明な点は、裏表紙に記載のAterm（エーターム）インフォメーションセンターまでお問い合わせください。

規制ポリシー

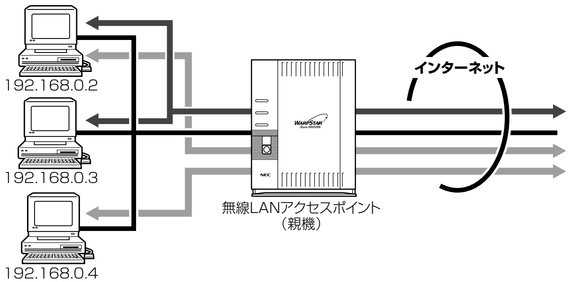
大カテゴリ	サブカテゴリ	小学生以下	中学生	高校生	大人
不法	違法と思われる行為	×	×	×	×
	違法と思われる薬物	×	×	×	×
	不適切な薬物利用	×	×	×	×
主張	軍事・テロ・過激派	×	×	×	×
	武器・兵器	×	×	×	×
	誹謗・中傷	×	×	×	×
	自殺・家出	×	×	×	×
	主張一般	×	×	×	×
アダルト	性行為	×	×	×	×
	ヌード画像	×	×	×	×
	性風俗	×	×	×	×
	アダルト検索･リンク集	×	×	×	×
セキュリティ	ハッキング	×	×	×	×
	不正コード配布	×	×	×	×
	公開プロキシ	×	×	×	×
出会い	出会い・異性紹介	×	×	×	×
	結婚紹介	×	×	×	○
金融	金融レート・ 投資アドバイス	○	○	○	○
	投資商品の購入	×	×	×	○
	保険商品の申込	×	×	○	○
	金融商品・サービス	○	○	○	○
ギャンブル	ギャンブル一般	×	×	×	○
	宝くじ･スポーツくじ	×	×	×	○
ゲーム	対戦型ゲーム	×	×	○	○
	ゲーム一般	×	×	○	○
ショッピング	オークション	×	×	×	○
	通信販売一般	×	×	×	○
	不動産販売・賃貸	○	○	○	○
	IT 関連ショッピング	×	×	×	○
コミュニケーション	ウェブチャット	×	○	○	○
	メッセンジャー	○	○	○	○
	ウェブメール	○	○	○	○
	メールマガジン･ML	×	○	○	○
	掲示板	×	×	×	○
	IT 掲示板	×	○	○	○

大カテゴリ	サブカテゴリ	小学生以下	中学生	高校生	大人
ダウンロード	ダウンロード	×	○	○	○
	プログラムダウンロード	×	○	○	○
	ストレージサービス	×	○	○	○
職探し	転職・就職	○	○	○	○
	キャリアアップ	○	○	○	○
	サイドビジネス	○	○	○	○
グロテスク	グロテスク	×	×	×	×
話題	イベント	○	○	○	○
	話題	○	○	○	○
成人嗜好	娯楽誌	×	×	×	○
	喫煙	×	×	×	○
	飲酒	×	×	×	○
	アルコール製品	×	×	×	○
	水着･下着･フェチ画像	×	×	×	○
	文章による性的表現	×	×	×	○
	コスプレ	×	×	×	○
オカルト	オカルト	×	×	×	×
ライフスタイル	同性愛	×	×	×	○
スポーツ	プロスポーツ	○	○	○	○
	スポーツ一般	○	○	○	○
	レジャー	○	○	○	○
旅行	観光情報・旅行商品	○	○	○	○
	公的機関による観光情報	○	○	○	○
	公共交通	○	○	○	○
	宿泊施設	○	○	○	○
趣味	音楽	○	○	○	○
	占い	○	○	○	○
	タレント・芸能人	○	○	○	○
	食事・グルメ	○	○	○	○
	娯楽一般	○	○	○	○
宗教	伝統的な宗教	×	○	○	○
	宗教一般	×	○	○	○
政治活動・政党	政治活動・政党	×	○	○	○
広告	広告・バナー	×	×	○	○
	懸賞	×	×	○	○
ニュース	ニュース一覧	○	○	○	○

便利な機能

複数の接続先に接続する設定（PPPoE マルチセッション）

PPPoE マルチセッションとは、１つの回線契約で複数の接続先へ同時に接続を行う機能です。
接続先の登録数は最大５箇所、同時接続可能セッション数は最大５箇所です。
本機能は、プロバイダや接続事業者のサービス内容をご確認のうえ、ご使用ください。



接続先は、「優先する接続先（優先接続）」１箇所とその他の接続先として４箇所までを設定できます。（例：一般的なフレッツ契約では１回線につき２セッションまで許容されています。）
また、優先する接続先以外の接続先には、それぞれの「静的ルーティング設定」で、LAN 側から WAN 側へのパケット振り分けルールを設定します。
LAN 側から WAN 側へのパケットのうち、「静的ルーティング設定」で設定した条件と一致するパケットおよびその応答パケットは、条件の一致した「その他の接続先」のアカウントを使って接続します。
「静的ルーティング設定」で設定した条件と一致しなかったパケットおよびその応答パケットは、「優先接続」に指定されている接続先のアカウントを使って接続します。
設定方法については「機能詳細ガイド」を参照してください。

お知らせ

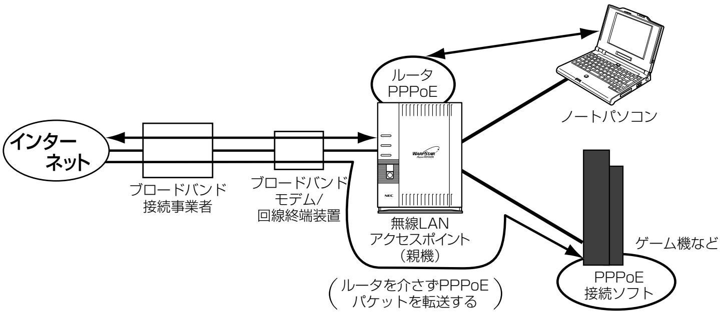
－制限事項－

- PPPoE マルチセッションで本商品の UPnP 機能をご利用になる場合は、 UPnP 機能をご利用になる接続先を「優先接続」に指定してください。
  UPnP 機能をご利用になる接続先が「優先接続」に指定されていない場合は、正常に通信できなくなることがあります。
  ※本商品の初期状態では、［接続先 1］が UPnP 機能の優先接続先になっています。

PPPoE ブリッジ機能

パソコンやゲーム機などで PPPoE（PPP over Ethernet）プロトコルの利用が必要な場合やグローバル IP アドレスが必要なアプリケーションを利用する場合は、PPPoE ブリッジ機能を使用して、接続できます。
無線 LAN アクセスポイント（親機）が PPPoE モードのときに使用することができます。本機能を使用した場合、LAN 側に接続されているパソコンやゲーム機のうち使用できるのは最大 16 台までです。PPPoE ブリッジで接続できるパソコンやゲーム機の台数は接続事業者によって異なります。接続事業者にご確認ください。

※ PPPoE プロトコルの利用やグローバル IP アドレスの利用が必要ではなく、複数のセッションで通信したい場合は、PPPoE マルチセッションでご利用いただけます。（☛P64）



■ PPPoE ブリッジ機能でできること

（1）次のアプリケーションなどをご利用いただけます。

〈利用確認アプリケーション〉

● Windows® XP の場合
リモート デスクトップ
リモート アシスタンス

● Windows Vista® の場合
リモート デスクトップ
Windows リモート アシスタンス
Windows ミーティングスペース

（2）PPPoE 対応のゲーム機（PlayStation®2 など）を接続できます。

（3）PPPoE ブリッジ機能を用いることにより、ご利用のパソコンは、無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能や NAT 機能を介さずに、直接無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続しているブロードバンドモデム／回線終端装置と PPPoE の処理を行うため、パソコンにグローバル IP アドレスを取得することができます。

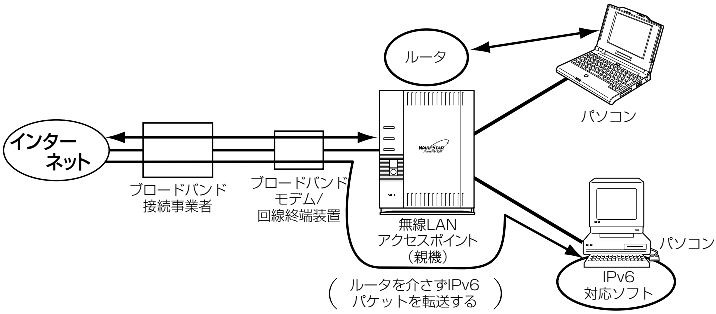
お願い

●アプリケーションの操作方法は、パソコンのサポート窓口でお問い合わせください。

●「PPPoE ブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

IPv6 ブリッジ機能

IPv6（Internet Protocol Version 6）プロトコルの利用が必要なサービスをご契約の場合、本商品はIPv6ブリッジ機能の初期値が「使用する」になっていますので、パソコン側の設定をすることでご利用になれます。IPv6ブリッジ機能を使用する際、セキュリティの低下を防ぎたい場合には、「機能詳細ガイド」を参照して設定変更してください。



ブロードバンドテレビサービスをご利用になりたい場合

IPv6マルチキャストストリーミングサービスを無線LANポートでご利用になる場合には、マルチキャスト帯域拡張機能を使用して、マルチキャストの速度を変更してご利用ください。

例：6Mbpsのテレビサービスをご利用の場合は、8.4Mbps以上の設定を行ってください。（設定は12Mbpsになります。）

- テレビサービスをご利用になる場合、ご利用環境によっては視聴できない場合があります。
- 無線LAN端末（子機）は、プライマリSSIDでご利用ください。その場合セカンダリSSIDのIPv6マルチキャストを「ストリーミングのみ転送しない」に設定してください。

お知らせ

- ブロードバンド映像配信の一部のサービスは、無線で利用できない場合があります。セットトップボックスは本商品に接続し、有線LAN接続でご利用ください。

お願い

- パソコン側の設定方法は、お使いのプロバイダのサポート窓口でお問い合わせください。
- 「IPv6ブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

DMZ ホスト機能

外部からのアクセスをLAN上のあらかじめ指定したパソコンに自動的にすべて転送する機能です。Web／FTPサーバの外部公開やLAN上へファイアウォールを設定することができます。（☛ 機能詳細ガイド）

VPN パススルー機能

VPN クライアントのソフトウェアを使って会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN（Virtual Private Network ：仮想閉域網）に PPTP/IPsec で接続できます。

本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「機能詳細ガイド」を参照してください。

IP パケットフィルタリング

宛先／送信元 IP アドレスやポート番号、パケットの方向などを指定して、パケットの通過を制限する機能です。

不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。

（☛ 機能詳細ガイド）

ポートマッピング

あらかじめ固定的に使用するポート番号と転送先パソコンを指定することで、ネットワーク対応ゲームやストリーミングなどの外部から直接アクセスが必要なアプリケーションの通信が使用できます。

（☛ 機能詳細ガイド）

UPnP 機能

本商品とパソコンの UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）機能を利用して、TV 電話をするなど、パソコンの Windows Live Messenger、Windows Messenger、MSN Messenger の機能をご利用になることができます。

本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「機能詳細ガイド」を参照してください。

ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPnP の設定をすることで、利用ができます。

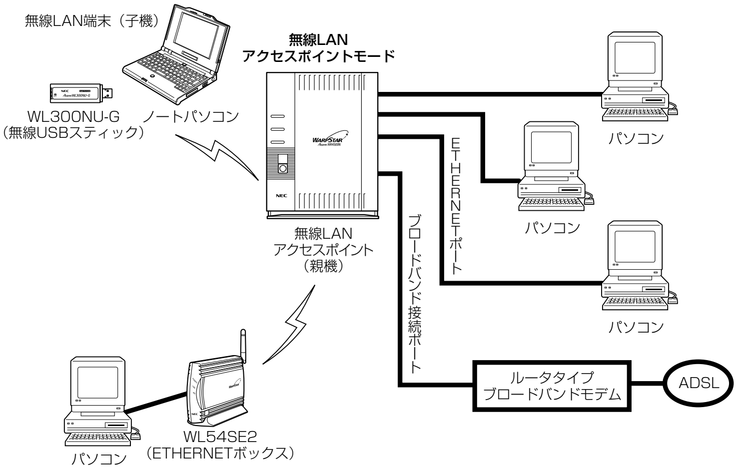
お知らせ

- UPnP 機能は、Windows Vista®、Windows® XP のパソコンでのみご利用になれます。
- フレッツ・ ADSL などの PPPoE が使用できる環境では、PPPoE ブリッジ機能を使用することで、1 台のパソコンのみで利用ができます。
- ルータタイプの ADSL モデムにローカルルータモードで接続している時は、UPnP の機能はご利用になれません。ADSL モデムを PPPoE ブリッジモードに切り替えて本商品の動作モードを PPPoE ルータモードに設定するか、無線 LAN アクセスポイントモードに設定してお使いください。

無線LANアクセスポイントとして使う（ルータ機能を停止する）

本商品を無線LANアクセスポイントモードにすると、ルータ機能が停止します。
本モード設定にして既存のLANや、ルータタイプのブロードバンドモデムに接続することで、LANケーブル接続のパソコンや、無線接続のパソコンを増設できます。

※本商品を無線LANアクセスポイントモードとしてご利用の場合は、本商品のACTIVEランプが橙点灯します。



お知らせ

●ルータタイプのブロードバンドモデムと接続する際、次のような場合には本商品のルータ機能を止めて無線LANアクセスポイントモードをご利用ください。
- 本商品の持つルータ機能を使用しないとき
- ルータ機能を持つ装置を多重した接続になり、回線が持つスループットを十分に引き出すことができないとき

無線LANアクセスポイントモード設定

無線LANアクセスポイントモードの設定は、ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチか、らくらくWebウィザードで行います。

●らくらくWebウィザードで設定する場合（☛P70）
●ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチで設定する場合（☛P72）

! 無線LANアクセスポイントモードに設定(ルータ機能を停止）した場合のご注意

●無線LANアクセスポイントモードで、「らくらく無線スタート」を行う場合は、必ず、ブロードバンドモデムなどDHCPサーバ機能を持った機器を本商品に接続した状態で行ってください。

●無線LANアクセスポイントモードで、クイック設定Webを開く場合は、「http://web.setup/」およびデスクトップの［クイック設定Web］アイコンから開くことはできません。

→無線LANアクセスポイントモードでのクイック設定Webの開き方は下記の通りです。

<DHCPサーバ機能を持った機器が本商品に接続されている場合>
WWW ブラウザのアドレスに、「http://*.*.*.211/」と入力して開きます。(「*.*.*」は、ご使用の環境に合わせたネットワーク体系)
例：フレッツ・光プレミアムでは　http://192.168.24.211/
※設定画面を開けない場合は、DHCPサーバ機能を持った機器を取り外し、本商品を再起動したのち、下記の方法で設定画面を開いてください。

<DHCPサーバ機能を持った機器が本商品に接続されていない場合>
パソコンのIP アドレスを、192.168.0.100　などに固定してから、WWWブラウザのアドレスに、「http://192.168.0.211/」と入力して開きます。

らくらく Web ウィザードで設定する

※らくらく Web ウィザードは、無線 LAN アクセスポイント（親機）をはじめて設定する場合のみ表示されます。無線 LAN アクセスポイント（親機）をすでにルータとしてお使いの場合は一度初期化してから設定を行ってください。(☛P97)
（初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。）

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）

3 管理者パスワードの初期設定を行う

画面に従ってパスワードを設定してください。
この画面は、管理者パスワードが未設定のときに開きます。

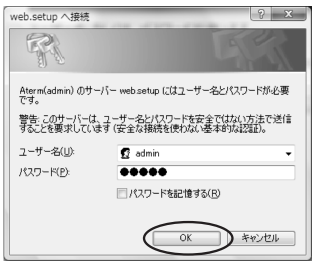
●管理者パスワードは、無線 LAN アクセスポイント（親機）を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。
忘れた場合は設定画面を開くことができず、初期化してすべての設定を最初からやり直しになります。



管理者パスワード控え欄	

4 ［設定］をクリックする

5 次の画面が表示されたらユーザー名に「admin」、パスワードに手順 3 で設定した管理者パスワードを入力し［OK］をクリックする



6 「動作モード選択」で「無線 LAN アクセスポイント」を選択し、［次へ］をクリックする



7 「IP アドレス／ネットマスク」の「IP アドレス自動補正機能」の［使用する］にチェックを入れる



※フレッツ・光プレミアムに接続する際の設定例は、画面の〈参考〉をご確認ください。

8 ［設定］をクリックする

9 クイック設定 Web のページを閉じる

※あとからクイック設定 Web のページを開くには、「①無線 LAN アクセスポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意」（☛P69）を参照してください。

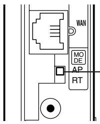
➡ 「ルータタイプの ADSL モデムやハブと接続する」（☛P73）に進みます。

ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチで設定する

無線LANアクセスポイント（親機）のルータ／アクセスポイントモード切替スイッチを使って設定します。

1 **無線LANアクセスポイント（親機）の電源を切る**

2 **ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチをアクセスポイント（AP）側に切り替える**



3 **無線LANアクセスポイント（親機）の電源を入れる**
POWERランプが緑点灯し、ACTIVEランプが橙点灯すると、設定が完了します。

➡ **「ルータタイプのADSLモデムやハブと接続する」（☛P73）に進みます。**

お知らせ

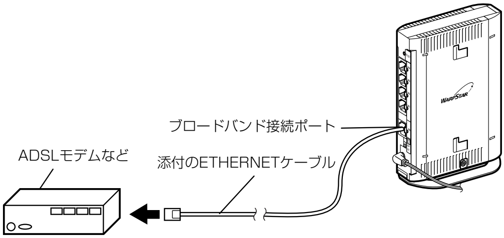
●この方法で設定したあとに、ルータモードに変更する（ルータ機能を使用する）場合は、必ずルータ／アクセスポイントモード切替スイッチをルータ（RT）側に切り替えたあとで無線LANアクセスポイント（親機）を初期化し（☛P97）、本商品の設定をはじめから行ってください。（☛「つなぎかたガイド」）

ルータタイプの ADSL モデムやハブと接続する

必要があれば無線 LAN アクセスポイント（親機）とルータタイプの ADSL モデムまたはハブを接続します。

1 無線 LAN アクセスポイント（親機）の背面にあるブロードバンド接続ポートとルータタイプの ADSL モデムなどを ETHERNET ケーブルで接続する

ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。



2 ADSL モデムなどの電源を入れる

3 無線 LAN アクセスポイント（親機）の前面の ACTIVE ランプが橙点灯することを確認する

ACTIVE ランプが橙点灯すれば、ADSL モデムは正しく接続されています。
※IP アドレスは、自動的に本商品の属しているネットワークに追従するように補正されます。補正後の IP アドレスは、ネットワークのアドレスが「192.168.111.xxx」の場合、「192.168.111.211」となります。
※サブネットマスクは補正されません。（255.255.255.0 固定）

らくらく Web ウィザードで設定した場合、無線の設定を変更するときは、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」－「無線 LAN 設定」でネットワーク名（SSID）、暗号化などを変更します。（WWW 機能詳細ガイド）

ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、WR4500N（親機）に新しい機能を追加したり、場合によっては、WR4500N（親機）の操作を改善します。
［用語］ファームウェア：本商品を動かすソフトウェアのことです。

お願い

- ファームウェアのバージョンアップ中（約1分間）は絶対にWR4500N（親機）の電源を切らないでください。
- ファームウェアをバージョンアップするときは、そのあとでユーティリティも最新のものにバージョンアップしてください。
- お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
- バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、通知領域（タスクトレイ）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

ファームウェアをバージョンアップする

ファームウェアのワンタッチバージョンアップ

インターネットに接続された状態で、AtermStationに新しいファームウェアが更新された場合に、クイック設定Webのトップ画面に［ファームウェア更新］のボタンが表示されます。
このボタンをクリックすることで、簡単にバージョンアップができます。

※本機能は、ルータ機能を利用している場合のみご利用になれます。
※本機能は、常に本商品の電源がONになっており、かつインターネットに接続されている必要があります。
また、サーバ側の負荷分散のために更新情報の検出が数週間遅れる場合があります。

本サービスは、予告なく変更あるいは終了する場合があります。
詳しくは、AtermStation（http://121ware.com/aterm/）をご覧ください。

お知らせ

- ファームウェアのバージョンアップ情報がある場合は、インターネット上のホームページを開く際に、バージョンアップ情報が自動的に告知されますので、画面の指示に従って、本商品のバージョンアップを行うことができます。（ただし、自動告知画面が表示されるのは、開こうとするホームページのＵＲＬがホスト名の場合のみです。）
表示される例　　：http://www.biglobe.ne.jp/
表示されない例　：http://www.biglobe.ne.jp/xxx_xxx

自動更新(オンラインバージョンアップ)

クイック設定 Web からファームウェアのバージョンアップを行うことができます。
本商品からインターネットに接続できる必要があります。
※本機能は、ルータ機能を利用している場合のみご利用になれます。

1 **WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く**
無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

2 **ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする**

3 **「メンテナンス」の［ファームウェア更新］を選択する**

4 **［自動更新（オンラインバージョンアップ)］を選択する**



5 **[更新]をクリックする**

6 **次の画面が表示されるので、電源コンセントを取り外さずそのまましばらく待つ**

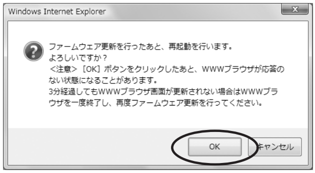


7 **次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、[最新バージョンに更新]をクリックする**
「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。［閉じる］をクリックして、クイック設定 Web を閉じます。



（次ページに続く）

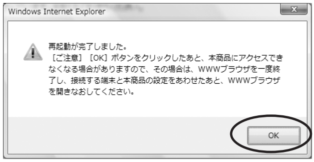
8 [OK]をクリックする



9 しばらくすると、クイック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。1 分ほどお待ちください」と表示される

※バージョンアップの途中で電源を切らないでください。

10 [OK]をクリックする



ユーティリティとファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする

ホームページ AtermStation から、ユーティリティやファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行うことができます。
ダウンロードしたファームウェアでのバージョンアップ方法は「機能詳細ガイド」を参照してください。

1. **AtermStation（http:// 121ware.com/aterm/）にアクセスする**

2. **［ダウンロード］ – ［バージョンアップ］にて、お使いの機種を選択する**

3. **内容をよく読んでご利用になるファームウェアやユーティリティをダウンロードする**

4. **ダウンロードが終了したら、インターネットの接続を切断する**

5. **ユーティリティのバージョンアップの場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックする**

   インストールが始まります。
   詳細は、各ユーティリティのセットアップのページや AtermStation の説明をお読みください。

トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。
本書の他に、ホームページに掲載している電子マニュアル「機能詳細ガイド」の「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。
該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、無線LANアクセスポイント（親機）を初期化し（☛P97）、初めから設定し直してみてください。初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。（機能詳細ガイド）

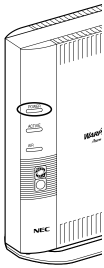
- 設置に関するトラブル（☛ 下記）
- ユーティリティに関するトラブル（☛P88）
- ご利用開始後のトラブル（☛P94）
- 添付のCD-ROMに関するトラブル（☛P96）

設置に関するトラブル

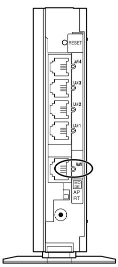
どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

無線LANアクセスポイント（親機）前面のPOWERランプは点灯していますか？	→いいえ（a参照☛P79）
↓はい	
無線LANアクセスポイント（親機）背面のWANランプは緑点灯していますか？	→いいえ（b参照☛P79）
↓はい	
らくらくネットスタートで無線LANアクセスポイント（親機）の設定が行えますか？	→いいえ（c参照☛P80）
↓はい	
無線LAN通信はできますか？ 無線LAN端末（子機）からの接続の場合：無線LANアクセスポイント（親機）と正しく接続されていますか？	→いいえ（d参照☛P80）
↓はい	
パソコンにIPアドレスが設定されていますか？ （確認方法は、P81を参照してください）	→いいえ（e参照☛P81）
↓はい	
無線LANアクセスポイント（親機）の設定が行えますか？ WWWブラウザ（クイック設定Web）で無線LANアクセスポイント（親機）の設定画面が表示できますか？	→いいえ（f参照☛P82）
↓はい	
<PPPoEモードの場合> 設定後、無線LANアクセスポイント(親機)前面のACTIVEランプが点灯していますか？	→いいえ（g参照☛P83）
<ローカルルータモードの場合> ・設定後、無線LANアクセスポイント(親機)前面のACTIVEランプが点灯していますか？ ・WAN側IPアドレスが正しく表示されていますか？ ・クイック設定Webの「情報」－「現在の状態」の「WAN側状態」にIPアドレスが表示されていますか？	→いいえ（h参照☛P84）
↓はい	
インターネットに接続できましたか？	→いいえ（i参照☛P85）

a.無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の POWER ランプが点灯しない

症　状	原因と対策
POWER ランプが点灯しない 	電源が入っていません。 ●AC アダプタ（電源プラグ）が外れている →AC アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んでください。 ●AC アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると無線 LAN アクセスポイント（親機）に供給されている電源も切れてしまいます。 ●AC アダプタ（電源プラグ）が破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから外して別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご相談ください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

b.無線 LAN アクセスポイント（親機）背面の WAN ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
WAN ランプが緑点灯しない 	●ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていない →ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源を入れて、正しく回線の LINK が確立できていることを確認してください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）のブロードバンド接続ポートがブロードバンドモデムまたは回線終端装置に ETHERNET ケーブルで正しく接続されているか確認してください。 ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。 ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。 ●ETHERNET ケーブルの規格が正しいか確認してください。 接続に使用しているケーブルが「ETHERNET ケーブル（カテゴリー 5）」であることを確認してください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）のブロードバンド接続ポートと無線 LAN アクセスポイント（親機）の LAN1 を添付の ETHERNET ケーブルで接続してみる。 背面の WAN ランプが点灯する場合 無線 LAN アクセスポイント（親機）は、問題ありません。 ブロードバンドモデム／回線終端装置が故障している可能性があります。 点灯しない場合 無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化してみてください。 それでも解決しない場合は無線 LAN アクセスポイント（親機）の故障の可能性があります。別紙に示す修理受け付け先または、お問い合わせ先へお問い合わせください。

c.らくらくネットスタートが失敗する

症　状	原因と対策
POWERランプ、ACTIVEランプ、AIRランプが赤点滅している	●WAN側回線の判別に失敗しています。 無線LANアクセスポイント（親機）からACアダプタを抜き、10秒以上たってから、再度無線LANアクセスポイント（親機）にACアダプタを接続します。 「無線LANアクセスポイント（親機）を手動で設定するには」（☛P48）に従って設定してください。
利用回線に不適切なモードが選択されている	●無線LANアクセスポイント（親機）背面のRESETスイッチによる初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください。（☛P98） 「無線LANアクセスポイント（親機）を手動で設定するには」（☛P48）に従って設定してください。

d.無線LAN通信ができない

症　状	原因と対策
無線LANアクセスポイント（親機）に接続できない	●暗号化キーの設定が無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）とで一致しているかを確認してください。（WWW 機能詳細ガイド） ●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。 →ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている可能性があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 ①ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートをあける （アドレス：192.168.0.＊、TCPポート番号：23/53/75/80、UDPポート番号：69/161） ②①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする ●「らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEXに関する問題」（☛P89）も参照してください。 ●WL300NU-G（無線USBスティック）から接続する場合は、ドライバが正しくインストールされていない場合があります。 次の手順でいったんドライバとユーティリティ（Windows® XP/2000 Professionalの場合はドライバ）を削除してから、もう一度ドライバとユーティリティ（Windows® XP/ 2000 Professionalの場合はドライバ）をインストールしてください。 ①［スタート］－［すべてのプログラム］－［Aterm WARPSTARユーティリティ］－［ドライバとユーティリティの削除］（Windows® XP/2000 Professionalの場合は［ドライバのアンインストール］）をクリックする ②画面の指示に従って、アンインストールを行う ●WL300NU-G（無線USBスティック）から接続する場合は、「サテライトマネージャに関する問題」（☛P91）も参照してください。

症　状	原因と対策
無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）間の電波状態が悪い	●電波の届く範囲まで無線LAN端末（子機）を移動したり、無線LANアクセスポイント（親機）や無線LAN端末（子機）の向きをかえたりして電波状態を確認してください。
セカンダリSSIDが見つからない	●IEEE802.11bに対応している無線LAN端末（子機）によっては、セカンダリSSIDをサーチできない場合があります。この場合、SSIDを直接設定することにより、接続可能となります。 例）初期値の場合 プライマリSSID ： WARPSTAR-xxxxxx （本商品底面ラベルに記載のネットワーク名（SSID）） セカンダリSSID ： WARPSTAR-xxxxxx-W （本商品底面ラベルに記載のネットワーク名（SSID）の末尾に「-W」がついたもの）

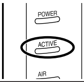
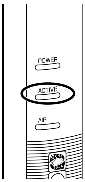
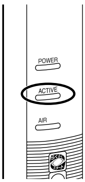
e.パソコンにIPアドレスが設定されていない

症　状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.0.xxx」に設定されていない	●パソコンの設定で「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも無線LANアクセスポイント（親機）の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる起動後、bの手順で再度パソコンのアドレスを確認する b. 次の手順でIPアドレスを取り直す ＜Windows Vista® およびWindows® XPの場合＞ ①[スタート]（Windows® のロゴボタン）（Windows ®XPの場合は［スタート］）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /renew」と入力して、[Enter］キーを押す ③IPアドレス（IP Address またはIPv4アドレス）が「192.168.0.xxx」になることを確認する ＜Windows® 2000 Professionalの場合＞ ①[スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /renew」と入力して［Enter］キーを押す ③IPアドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する ※らくらくネットスタートで、ローカルルータモードを認識した場合、本商品が接続されているネットワークに応じてLAN側のIPアドレスを変更します。 例）WAN側ネットワークが192.168.0.xxxの場合、LAN側IPアドレスを自動的に、192.168.1.1/24に設定します。サブネットマスクは補正されません。（255.255.255.0固定）

f.WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定画面が表示されない（クイック設定 Web が起動しない）

症　状	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	● プロキシの設定をしていませんか →プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ①［ツール］－［インターネットオプション］－［接続］－［LAN の設定］の順にクリックする ②［LAN にプロキシサーバーを使用する］の［詳細設定］をクリックして、例外に「web.setup」を入れる ● 代わりに IP アドレスを入れても表示できます。 ・本商品の動作モードが PPPoE ルータモードのとき：「http://192.168.0.1」です。 ・本商品の動作モードがローカルルータモードのとき：「http://192.168.0.1」もしくは「http://192.168.1.1」です。 ・本商品の動作モードが無線 LAN アクセスポイントモードのとき：「http://＊.＊.＊.211」です。（☛P69） ・IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。 ● 無線 LAN アクセスポイントモードに設定されている →「http://＊.＊.＊.211」と入力して表示します。（☛P69） →ルータモードに変更してクイック設定 Web を開く場合は、P72 の「お知らせ」を参照してください。 ● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（☛P30、P34）
WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求される  	● WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求されます。 →ユーザー名には、「admin」を入力してください。パスワードには、WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）に一番最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）のクイック設定 Web が開かない	● JavaScript が無効に設定されている →WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。（☛P35） ● IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。（☛P81）

g.PPPoE モードで無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の ACTIVE ランプが点灯しない

症　状	原因と対策
ACTIVE ランプが点灯しない 	●パソコンから WWW ブラウザなどでインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で ACTIVE ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
ACTIVE ランプが速い点滅をしている 	●ブロードバンドモデム／回線終端装置の WAN 側が接続されていることを確認してください。ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 NEC 製の ADSL モデムをご使用の場合はモデム前面の LINE ランプまたは ADSL ランプが点灯します。LINE ランプまたは ADSL ランプが点滅している場合は ADSL モデムの取扱説明書を参照して対処してください。 対処後、パソコンから WWW ブラウザなどでインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で ACTIVE ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
ACTIVE ランプが遅い点滅、速い点滅を繰り返している 	●無線 LAN アクセスポイント（親機）に登録した接続ユーザー名、接続パスワードとプロバイダなどから送られてくる接続ユーザー名、接続パスワードが正しいことを確認してください。 接続ユーザー名、接続パスワードについてはご契約のプロバイダへお問い合わせください。 ●接続ユーザー名、接続パスワードが間違っています。 一般的に下記が区別されますのでご注意ください。 　接続ユーザー名（ログイン名）：半角、全角 　接続パスワード：半角、全角、大文字、小文字 接続ユーザー名@xxxx.ne.jp と入力するのが一般的です。 ●接続する環境によっては、正常接続時に時間がかかる場合があります。（数分程度）

h.WAN 側 IP アドレスが正しく表示されない

症　状	原因と対策
ACTIVE ランプが点灯しない （クイック設定 Web の状態表示で WAN 側 IP アドレスが表示されない）	●ブロードバンドモデム／回線終端装置が WAN 側に接続されていることを確認してください。 ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 ●ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っているか確認してください。 ●接続事業者から指定された IP アドレス情報などが正しく設定されているか確認してください。 らくらく Web ウィザード クイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」(機能詳細ガイド) ●ブロードバンドモデム／回線終端装置の設定が合っているか確認してください。動作モードが PPPoE ブリッジモードの場合は本商品の動作モードは PPPoE モードでご使用ください。 ●他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたブロードバンドモデムを無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続し直して通信しようとしている場合、ブロードバンドモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスと無線 LAN アクセスポイント（親機）の MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ブロードバンドモデムの電源をいったん切って、20 ～ 30 分後に電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）WAN 側の IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定 Web の［情報］－［現在の状態］で［IP 解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを更新してください。 ● CATV 接続事業者によってはドメイン名やホスト名を本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」画面の［高度な設定を表示］をクリックしてからドメイン名やホスト名を入力してください。 ● CATV 接続事業者によってはゲートウェイやネームサーバを本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」画面の［高度な設定を表示］をクリックしてからゲートウェイやネームサーバを入力してください。 ● CATV 接続事業者によっては本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。 無線 LAN アクセスポイント（親機）の WAN 側の MAC アドレスを申請してください。 ●クイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」画面の［高度な設定を表示］をクリックしてから「IP アドレスの割り当て競合検出」のチェックを外してみてください。

i.インターネットに接続できない

● ADSL/FTTH 接続に関するトラブル

症　状	原因と対策
ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてくる	●WWW ブラウザやメールソフトの設定が、LAN 接続の設定になっていない。 →LAN 接続の設定になっているかどうかを確認してください。(☛P34)
ルータタイプ ADSL モデムに接続している	●WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続できません。 →クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」を確認してください。 IP アドレスが表示されていない場合は、[IP 取得] を選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。 [IP 取得] でも IP アドレスが表示されない場合は、ADSL モデムがエラー表示していないか、または無線 LAN アクセスポイント（親機）背面の WAN ランプが緑点灯しているか確認してください。 ●ルータタイプ ADSL モデムの接続設定ができていない。 ADSL モデムが無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている可能性があります。 →次の手順で、IP アドレスが同じであることを確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。 ①IP アドレスを確認する WAN 側：クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」が空欄になっている ②IP アドレスを変更する クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を"192.168.1.1"など左から 3 つ目を変更して、[設定] をクリックする ③[保存] をクリックする ●無線 LAN アクセスポイント（親機）を無線 LAN アクセスポイントモードに設定して接続できるか確認してください。(☛P68) これでも ADSL 接続ができない場合は、ADSL モデムのサポート窓口に ADSL モデムの設定をお問い合わせください。
PPPoE 接続できない	●ユーザー ID とパスワードが間違っている →ADSL インターネット接続のユーザー ID は、「xxxxxxx@biglobe.ne.jp」のように @ 以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザー ID とパスワードを再確認して正しく設定してください。 ●使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）の動作モードは正しいですか。 →ルータタイプの ADSL モデムに接続して使用する場合、PPPoE モードでは接続できません。あらかじめ ADSL モデムのタイプを確認してください。

症　状	原因と対策
PPPoE 接続できない（続き）	●パソコンに、ADSL モデムに添付されていた PPPoE 接続専用ソフトを入れたまま、それを使用していませんか。または、Windows Vista® /Windows® XP の PPPoE 機能を使用していませんか。 → PPPoE の外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に 1 台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらく Web ウィザードまたはクイック設定 Web で設定をしてください。 ●フレッツ・ADSL 接続後、電源の ON/OFF などで、異常終了した場合、無線 LAN アクセスポイント（親機）の再起動において、一定時間（最大で 5 分間程度）接続できない場合があります。一定時間経過後再接続してください。
PPPoE 接続に成功してもホームページが開けない	●IP アドレス、DNS ネームサーバアドレスが間違っている。 →自動取得できないプロバイダの場合、プロバイダから指定された IP アドレスや DNS ネームサーバアドレスを接続先の設定画面で入力してください。

● **CATV 接続に関するトラブル**

症　状	原因と対策
CATV インターネット接続に失敗する	●回線側の IP アドレスが取得できていない。 →クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」を確認してください。正しく IP が取得できていない場合は、いったん［IP 解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを正しく更新してください。 ●他のブロードバンドルータやパソコンに接続していた CATV ケーブルモデムを無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続し直して通信しようとしている。 → CATV ケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスを記憶して、この MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、CATV ケーブルモデムの電源をいったん切って、20 分ほど待ってから電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ● CATV 接続事業者によっては、本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。無線 LAN アクセスポイント（親機）の WAN 側の MAC アドレスを申請してください。
CATV インターネット接続に成功してもホームページが開けない	●ドメイン名、ホスト名が指定されていない。 → CATV 事業者によってはドメイン名やホスト名を入力しないと接続できない場合があります。事業者に確認してクイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」画面の［高度な設定を表示］をクリックしてから、または、らくらく Web ウィザードでドメイン名やホスト名を入力してください。 ●ゲートウェイ、DNS ネームサーバが指定されていない。 → CATV 事業者によってはゲートウェイや DNS ネームサーバを入力しないと接続できない場合があります。接続事業者に確認して、クイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」または、らくらく Web ウィザード（☛P40）からゲートウェイやネームサーバを入力してください。

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原因と対策</th></tr>
<tr><td>WAN側IPアドレスが取得できない</td><td rowspan="2">●背面のWANランプが点灯しているか確認してください。
●WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。
→クイック設定Webの「情報」の「現在の状態」で「WAN側状態」の「IPアドレス」をご確認ください。
IPアドレスが表示されていない場合は、[IP取得]をクリックし、IPアドレスが正しく表示されていることをご確認ください。
[IP取得]でもIPアドレスが表示されない場合は、CATVケーブルモデムがエラー表示していないか、または無線LANアクセスポイント（親機）背面のWANランプが点灯しているか確認してください。
●クイック設定Webの「接続先設定」画面の[高度な設定を表示]をクリックしてから、「IPアドレスの割り当て競合検出」のチェックを外してみてください。
●CATVケーブルモデムが無線LANアクセスポイント（親機）と同じIPアドレス192.168.0.1になっている可能性があります。
→次の手順で、IPアドレスが同じか確認したあとで、LAN側のIPアドレスを変更します。
①IPアドレスを確認する
WAN側：クイック設定Webの「情報」の「現在の状態」で「WAN側状態」の「IPアドレス」が空欄になっている
②IPアドレスを変更する
クイック設定Webの「詳細設定」の「LAN側設定」で「IPアドレス」を"192.168.1.1"など左から3つ目を変更して、[設定]をクリックする
③[保存]をクリックする</td></tr>
<tr><td>しばらくすると回線が切断され、WAN側IPアドレスが、空欄になってしまう</td></tr>
</table>

ユーティリティに関するトラブル

●無線LANアクセスポイント（親機）のクイック設定Webに関する問題

症　状	原因と対策
管理者パスワードを忘れてしまった	●無線LANアクセスポイント（親機）を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。(☛P97) ただし、クイック設定Webの「メンテナンス」－「設定値の保存&復元」で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。(Ⓦ機能詳細ガイド)
無線LANアクセスポイント（親機）のバージョンを確認したい	クイック設定Webで確認することができます。 「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。
［設定］をクリックしても、状態が反映されない	●［保存］をクリックしていない →項目によっては、［設定］をクリックしても状態は反映されません。 左側フレーム内の［保存］をクリックし、無線LANアクセスポイント（親機）を再起動する必要があります。 ※再起動後有効となる項目 ・疑似MACアドレス 
WWWブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力すると、違う機種のクイック設定Webが表示される	●本商品が無線LANアクセスポイントモードに設定されており、かつWAN側にNEC製のADSLモデムやホームゲートウェイ（Atermシリーズ）が接続されている →「http://web.setup/」と入力すると、本商品ではなく、NEC製のADSLモデムやホームゲートウェイ（Atermシリーズ）のクイック設定Web画面にアクセスします。本商品のIPアドレスを入力してください。(☛P69)
ブラウザからの応答がなくなってしまった	●クイック設定Webでは、［設定］をクリックすると設定値は即時有効となりますが、［詳細設定］－［LAN側設定］、または［無線LAN設定］の変更では、［設定］をクリックするとブラウザからの応答がなくなる場合があります。 その場合は、いったんブラウザを終了させてください。その後、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の接続設定が同じであることを確認のうえ、再度ブラウザを開き、［保存］をクリックしてください。 なお、［保存］をクリックせず、本商品の電源をOFFにしたり、再起動したりすると、設定値が失われますのでご注意ください。

●らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEXに関する問題

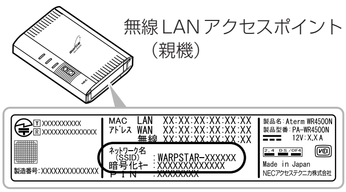
症　状	原因と対策
らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEXが成功しない	●無線LANアクセスポイント（親機）の電源がONになっていることを確認する →OFFになっていたらONにしてください。 無線LANアクセスポイント（親機）の無線LANモード設定が、無線LAN端末（子機）の通信可能なモードに対応していることを確認してください。 ●無線LANアクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている →らくらくスタートボタンは、POWERランプが緑点滅状態になったらいったん離します。「つなぎかたガイド」などの手順に従ってもう一度らくらく無線スタートを行ってください。 ●ドライバが正しく入っていない可能性がある →詳細は、ご利用の無線LAN端末（子機）のメーカーにお問い合わせください。 ●らくらく無線スタートEXが正しくインストールされていない →添付のCD-ROM（ユーティリティ集）、またはAtermStation（http://121ware.com/aterm/）から最新の「らくらく無線スタートEX」をダウンロードしてインストールしてください。（☛「つなぎかたガイド」） ●無線LANアクセスポイント（親機)の暗号化が解除されている →無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化設定を行ってください。（WWW機能詳細ガイド） ●無線LANアクセスポイント（親機）のMACアドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている →無線LANアクセスポイント（親機）のMACアドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。（WWW機能詳細ガイド） ●使用するネットワークにDHCPサーバとなる機器が存在しない状態で、無線LANアクセスポイント（親機）が無線LANアクセスポイントモードに設定されている →DHCPサーバとなる機器を設置するか、サテライトマネージャで無線LANの設定をしてください。（WWW機能詳細ガイド） ●パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどが動作している →設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。 ●パソコンに設定された固定IPアドレスが無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク体系とあっていない →パソコンの設定で「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。（☛P32） ●古いバージョンのドライバやユーティリティがインストールされている →古いバージョンのドライバやユーティリティをアンインストールしてから、本商品に添付のCD-ROMを使用して、ドライバやユーティリティをインストールしてください。 ●無線LAN端末（子機）（WL300NU-Gなど）のほかにネットワークデバイス（ETHERNETボードなど）が動作している →ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンの場合LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。

症　状	原因と対策
らくらく無線スタートが成功しない （続き）	●らくらく無線スタートEXの場合、無線LAN端末（子機）専用の設定ユーティリティなどが動作している →無線LAN端末（子機）専用の設定ユーティリティはいったん停止してください。 ●無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない →無線LANアクセスポイント（親機）に無線LAN端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度を設定してください。AESまたは128bitWEPに対応していない無線LAN端末（子機）を利用する場合無線LANアクセスポイント（親機）の設定を変更する必要があります。

●サテライトマネージャに関する問題

※添付 CD-ROM にサテライトマネージャが収録されている場合に参照してください。

症　状	原因と対策
インストール時に「このパソコンには無線制御用ソフトが既にインストールされているため…」という画面が表示される	●サテライトマネージャのインストールをいったん停止し、パソコンにインストールされている無線制御用ソフトをアンインストールしてから再度サテライトマネージャをインストールしてください。
Windows Vista® および Windows® XP/2000 Professional で、サテライトマネージャがインストールできない	●Administrator 権限のあるユーザーでログオンしていない。 →「Administrator」権限のあるユーザーでログオンしてください。「Administrator」権限のないユーザーではインストールが行えません。
サテライトマネージャが使用できない	●WL300NU-G（無線 USB スティック）のドライバが正しくインストールされていません。 次の手順でいったんドライバとユーティリティ（Windows® XP/2000 Professional の場合はドライバ）を削除してから、もう一度ドライバとユーティリティ（Windows® XP/ 2000 Professional の場合はドライバ）をインストールしてください。 ① [スタート] ー [すべてのプログラム] ー [ドライバとユーティリティの削除]（Windows® XP/2000 Professional の場合は [ドライバのアンインストール]）をクリックする ② 画面の指示に従って、アンインストールを行う ●上記の手順でも正しくインストールされない場合は、次の手順で再インストールしてください。 〈Windows Vista® の場合〉 ① [スタート]（Windows® のロゴボタン）ー [コントロールパネル] をクリックする ② [システムとメンテナンス] をクリックする ③ [システム] アイコンをクリックする ④ タスク欄の [デバイスマネージャ] をクリックする ⑤ [続行] をクリックする ⑥ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする ⑦ [NEC AtermWL300NU-G（PA-WL300NU/G）Wireless Network Adapter] を右クリックし、「プロパティ」を表示する ⑧ [ドライバ] タブで [ドライバの更新] をクリックする 以降は、「機能詳細ガイド」の「無線 LAN 端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。 〈Windows® XP の場合〉 ① [スタート] ー [コントロールパネル] をクリックする ② [パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする ③ [システム] アイコンをクリックする ④ [ハードウェア] タブをクリックする ⑤ [デバイスマネージャ] をクリックする ⑥ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする ⑦ [NEC AtermWL300NU-G（PA-WL300NU/G）Wireless Network Adapter] を右クリックし、「プロパティ」を表示する ⑧ [ドライバ] タブで [ドライバの更新] をクリックする

症　状	原因と対策
サテライトマネージャが使用できない （続き）	以降は、「Ⓦ機能詳細ガイド」の「無線LAN端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。 〈Windows® 2000 Professionalの場合〉 ①［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックする ②［システム］アイコンをダブルクリックする ③［ハードウェア］タブをクリックする ④［デバイスマネージャ］をクリックする ⑤［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑥［NEC AtermWL300NU-G（PA-WL300NU/G）Wireless Network Adapter］を右クリックし、「プロパティ」を表示する ⑦［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする 以降は、「Ⓦ機能詳細ガイド」の「無線LAN端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。
［サテライトマネージャ］アイコンが使える状態（青表示）にならない 通信状態が「範囲外」となる	● 無線LANアクセスポイント（親機）の電源が入っているか確認してください。 ● 通信モードがあっているか確認してください。 無線LANアクセスポイント（親機）との通信は「インフラストラクチャ通信」で使用します。 ※ 通信モードはサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名（SSID）」をクリックし、［設定］をクリックして確認します。 ● 接続する無線動作モードのネットワーク名（SSID）があっているか確認してください。 無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせて設定してください。 ※ 無線LANアクセスポイント（親機）の出荷時設定は、底面に貼ってあるラベルに記載されています。  ● 無線LANアクセスポイント（親機）との距離が離れすぎていないか確認してください。 ● WL300NU-G（無線USBスティック）のランプのつき方を確認してください。（☛P29） ● コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。 →お互いを数メートル以上離してお使いください。

症　状	原因と対策
［サテライトマネージャ］アイコンは使える状態（青表示）になるが無線LANアクセスポイント（親機）に接続できない	●暗号化の設定をしている場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と接続する無線通信モードで暗号化キーが一致しているか確認してください。（機能詳細ガイド） ●Windows® XPをご利用の場合は、［Windows® XPのワイヤレスネットワーク設定を無効にする］設定になっていることを確認してください。（機能詳細ガイド）
「ネットワークの参照」で無線LANアクセスポイント（親機）がみつからない	●電波状態により「ネットワークの参照」で無線LANアクセスポイント（親機）の電波を検出できない場合があります。このような場合は、［新規登録］で直接ネットワーク名（SSID）を入力してください。 ●クイック設定Webの［無線LAN設定］－［無線LAN設定］の「無線LAN端末（子機）の接続制限」で「ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）」を「使用する」に設定している場合は、「ネットワークの参照」に応答しません。 ［新規登録］で直接ネットワーク名（SSID）を入力してください。 ●WL300NU-G（無線USBスティック）のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。 ●Ethernetインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードまたはLANボードの機能を停止させないとWL300NU-G（無線USBスティック）のドライバが正しくインストールされない場合があります。LANカードまたはLANボードの機能を停止させてから、サテライトマネージャでの設定を行ってください。（機能詳細ガイド）
WL300NU-G（無線USBスティック）が使えない	●「無線状態が良好なのに通信できない」（☛P95）を参照してください。

ご利用開始後のトラブル

症　状	原因と対策
時々通信が切れる 途中から通信速度が遅くなった 通信が切断されることがある	● ブロードバンドモデム側のトラブルシューティングをご確認ください。特にADSLモデムに接続の場合はノイズ環境により左右されます。
使用可能状態において突然「IPアドレス 192.168.0.xxx は、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	● [OK] をクリックして次の手順でIPアドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行ってIPアドレスを再取得してください。 **＜IPアドレスの再取得＞** ＜Windows Vista® の場合＞ ① [スタート]（Windows® のロゴボタン）－ [すべてのプログラム] － [アクセサリ] － [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする ②ユーザアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] をクリックする ③「ipconfig /renew」と入力して、[Enter] キーを押す ④IPv4アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する ＜Windows® XP/2000 Professionalの場合＞ ① [スタート] － [すべてのプログラム]（または [プログラム]）－ [アクセサリ] － [コマンドプロンプト] をクリックする ②「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押す ③IPアドレス（IP Address）が「192.168.0.xxx」になることを確認する
前回はできたのにインターネット接続ができない（PPPoEモード、ローカルルータモード共通）	● パソコンにIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも無線LANアクセスポイント（親機）の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、上記を参照して再度パソコンのIPアドレスを確認してください。 b. 上記の「IPアドレスの再取得」を行う
前回はできたのにインターネット接続ができない（PPPoEモードの場合）	● ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ● ADSLモデムの場合、ADSLリンクが確立していることを確認してください。
前回はできたのにインターネット接続ができない（ローカルルータモードの場合）	● ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ● ブロードバンドモデム／回線終端装置と無線LANアクセスポイント（親機）の電源投入順序によっては無線LANアクセスポイント（親機）のWAN側IPアドレスが正しく取得できないことがあります。クイック設定Webの [情報] の [現在の状態] で [IP解放] をクリックしてから [IP取得] をクリックしてIPアドレスを更新してください。
無線LANアクセスポイント（親機）が正常に動作しないが、原因がわからない	● 設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、初期化して購入時の状態に戻し、最初から設定し直してください。

症　状	原因と対策
接続する無線動作モードのネットワーク名（SSID）を忘れてしまった	●有線LAN（ETHERNETポート）のパソコンから、クイック設定Webの［無線LAN設定］－［無線LAN設定］で設定し直してください。 ●サテライトマネージャをご利用の場合は、「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で［スキャン］をクリックして無線LANアクセスポイント（親機）を検索してください。ネットワーク名（SSID）で無線LANアクセスポイント（親機）を識別できます。
接続する無線動作モードのネットワーク名（SSID）を忘れてしまった（続き）	●無線LANアクセスポイント（親機）背面のRESETスイッチによる初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください。（☞P98） 出荷時のネットワーク名（SSID）の設定は無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（☞P92）
接続する無線動作モードの暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった	●有線LAN（ETHERNETポート）に接続したパソコンから、クイック設定Webの「無線LAN設定」の「無線LAN設定」で設定を確認してください。（ⓦ機能詳細ガイド） ●無線LANアクセスポイント（親機）を工場出荷状態に戻してください。（☞P97）ネットワーク名（SSID）や暗号化設定（WEPキー）は本体底面のラベルの値に戻ります。（☞P92）
無線状態が良好なのに速度がでない	●近くに隣接する無線チャネルを使っている人がいる、または「チャネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetoothなどの電波を放射する装置で電波干渉がある。 →サテライトマネージャ[プロパティ]－[状態]の「チャネル状況」で使用しているチャネルを確認し、クイック設定Webで使用する無線チャネルの番号を変更してください。 →クイック設定Webを起動して[無線LAN設定]－[無線LAN設定]内の[無線LANアクセスポイント(親機)設定]の「使用チャネル」の番号を変更します。（設定値1～13） 設定値の目安として、他の無線設備が使用しているチャネルから4チャネル以上ずらすようにしてください。 ●無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）が近すぎる →1m以上離してください。
無線状態が良好なのに通信できない	●〈IPアドレスの再取得〉（☞P94）を参照して、IPアドレスが取得できるか確認してください。 ●固定IPアドレスでお使いの場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 （例：無線LANアクセスポイント（親機）が192.168.0.1のとき、無線LAN端末（子機）は192.168.0.xxx） ●他のLANカードまたは、LANボードの機能を停止させてください。（☞P45、46、47）
WL300NU-G（無線USBスティック）を利用して、AVサーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛ぶ	●無線状態が悪い（無線LANアクセスポイント（親機）との距離が離れすぎている） →電波状態が良好となるところに移動してください。 ●電波干渉がある →無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。（☞上記） ●サテライトマネージャの設定画面でストリーミングモードを「ON」にする。（ⓦ機能詳細ガイド） ●AVサーバのレートを低品質に下げてご利用ください。
無線LANアクセスポイント（親機）のバージョンを確認したい	●次の方法で確認できます。 ・クイック設定Webの「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」

添付の CD-ROM に関するトラブル

症　状	原因と対策
CD-ROM セット直後に表示される画面を表示したくない	Windows Vista® および Windows® XP/ 2000 Professional の場合、CD-ROM をセットすると、画面が表示されるように設定されています。 →表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。 ●不要な場合は  をクリックします。（機種によっては［終了］をクリックします。） ●Windows Vista® および Windows® XP/2000 Professional の場合、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットします。

無線LANアクセスポイント（親機）を初期化する

初期化とは、無線LANアクセスポイント（親機）に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。無線LANアクセスポイント（親機）がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、無線LANアクセスポイント（親機）を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
なお、初期化しても、購入後にお客様がバージョンアップした無線LANアクセスポイント（親機）のファームウェアはそのままです。
初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

クイック設定Webで初期化する（☛ 下記）
RESETスイッチで初期化する（☛P98）

> **!**
> 初期化する前に、ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチをルータ（RT）側にしておいてください。

クイック設定Webで初期化する

1 パソコンを起動する

2 WWWブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く

無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを入力しても開きます。（工場出荷時は192.168.0.1です。）
例： http://192.168.0.1/
※無線LANアクセスポイントモードに設定している場合は、「!無線LANアクセスポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意」（☛P69）を参照してください。

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「メンテナンス」の［設定値の初期化］を選択する

5 ［設定値の初期化］をクリックする



6 ［OK］をクリックする

無線LANアクセスポイント（親機）が再起動します。

RESETスイッチで初期化する

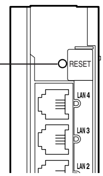
無線LANアクセスポイント（親機）のRESETスイッチを使って初期化を行います。
RESETスイッチは、背面にあります。

1 無線LANアクセスポイント（親機）の電源が入っていることを確認する

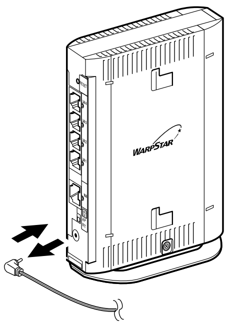
2 無線LANアクセスポイント（親機）の背面にあるRESETスイッチを細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で押し続け、POWERランプが赤点滅を始めたら離す

POWERランプが赤点滅するまで約6秒～10秒かかります。

RESETスイッチ



3 無線LANアクセスポイント（親機）からACアダプタのプラグをいったん取り外したあと、10秒ほど待ってから、再び差し込む



お願い

●無線LANアクセスポイント（親機）の設定を初期化した場合、管理者パスワードの設定もクリアされ、パケットフィルタなどの設定も初期値に戻りますので、初期化後に必ず再設定してください。

●無線LANアクセスポイント（親機）は、工場出荷時に、ネットワーク名（SSID）、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名（SSID）、暗号化キーの設定も工場出荷時の設定（無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載）になります。暗号化の設定を変更している場合などは、無線LAN端末（子機）から接続できなくなる場合があります。その場合は、無線LANアクセスポイント（親機）の設定を変更するか、無線LAN端末（子機）の暗号化設定も工場出荷時の状態（無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載）に戻してください。

製品仕様

WR4500N（親機）ハードウェア仕様

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th colspan="2">諸元および機能</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td rowspan="4">WAN
インタ
フェース</td><td>物理
インタフェース</td><td colspan="2">８ピンモジュラージャック
（RJ-45）×１ポート</td><td></td></tr>
<tr><td>インタフェース</td><td colspan="2">ブロードバンド接続ポート
100BASE-TX/10BASE-T</td><td>Auto MDI/MDI-X
対応</td></tr>
<tr><td>伝送速度</td><td colspan="2">100Mbps/10Mbps</td><td></td></tr>
<tr><td>全二重/半二重</td><td colspan="2">全二重/半二重</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">LAN
インタ
フェース</td><td>物理
インタフェース</td><td colspan="2">８ピンモジュラージャック
（RJ-45）×４ポート</td><td>スイッチング HUB
×４ポート</td></tr>
<tr><td>インタフェース</td><td colspan="2">100BASE-TX/10BASE-T</td><td>Auto MDI/MDI-X 対応</td></tr>
<tr><td>伝送速度</td><td colspan="2">100Mbps/10Mbps</td><td></td></tr>
<tr><td>全二重/半二重</td><td colspan="2">全二重/半二重</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="11">無線 LAN
インタ
フェース</td><td rowspan="3">11n テクノロジー使用時</td><td>周波数帯域/
チャネル</td><td colspan="2">2.4GHz 帯（2,400-2,484MHz）/
１～13ch</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td colspan="2">OFDM（直交周波数分割多重）方式/
搬送波数［HT20］56、［HT40］114.</td></tr>
<tr><td>伝送速度＊1</td><td colspan="2">2.4GHz 帯
［HT20］＊2
65/58.5/52/39/26/19.5/13Mbps
（自動フォールバック）
2.4GHz 帯
［HT40］＊2
150/135/121.5/
108/81/54/40.5/27/13.5Mbps
（自動フォールバック）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">IEEE802.11b</td><td>周波数帯域/
チャネル</td><td colspan="2">2.4GHz 帯（2,400-2,484MHz）/
１～13ch</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td colspan="2">DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式</td></tr>
<tr><td>伝送速度＊1</td><td colspan="2">11/5.5/2/1Mbps
（自動フォールバック）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">IEEE802.11g</td><td>周波数帯域/
チャネル</td><td colspan="2">2.4GHz 帯（2,400-2,484MHz）/
１～13ch</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td colspan="2">OFDM（直交周波数分割多重）方式/
搬送波数 52</td></tr>
<tr><td>伝送速度＊1</td><td colspan="2">54/48/36/24/18/12/9/6Mbps
（自動フォールバック）</td></tr>
<tr><td>アンテナ</td><td colspan="3">送信２×受信２（内蔵アンテナ）</td></tr>
<tr><td>セキュリティ</td><td colspan="3">SSID、WEP（152/128/64bit)、WPA-PSK（TKIP、AES）
※ 11nテクノロジーでは WPA-PSK（AES）のみの対応</td></tr>
</table>

項　目			諸元および機能	備　考
ヒューマンインタフェース	状態表示ランプ	POWER	電源通電時点灯	
		ACTIVE	ネット通信確立時点灯	
		AIR	2.4GHz モード時緑点灯、2.4GHz データ送受信時緑点滅	
		WAN	リンク確立時点灯 データ送受信点滅	
		LAN1 ～ 4	リンク確立時点灯 データ送受信点滅	
	スイッチ		らくらくスタートボタン× 1 RESET スイッチ× 1 ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチ× 1	
動作保証環境			温度 0 ～ 40 ℃　湿度 10 ～ 90 ％	結露しないこと
外形寸法			約 35（W）× 128（D）× 160（H）mm	突起部除く
電源			AC100V ± 10%　50/60Hz	AC アダプタ使用
消費電力			8W（最大）	
質量（本体のみ）			約 0.3kg	AC アダプタを除く
VCCI			VCCI クラス B	

＊ 1 ： 規格による理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際のデータ通信速度は異なります。

＊ 2 ： ご利用環境によっては、HT40/HT20 モードが自動で切り替わるため、デュアルチャネルを「使用する」に設定しても、HT20 で接続される場合があります。

WL300NU-G（無線USBスティック）仕様

■ 仕様一覧

項　目			諸元および機能
端末インタフェース			USB（USB2.0推奨＊1）
無線LAN インタフェース	Draft IEEE802.11n	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯 （2,400～2,484MHz）/1～13ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式/ 搬送波数［HT20］56、［HT40］114 MIMO（空間多重）方式
		伝送速度＊2	送信：［HT20］65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5Mbps ［HT40］150/135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5Mbps 受信：［HT20］130/117/104/78/52/39/26/13Mbps ［HT40］300/270/243/216/162/108/81/54/27Mbps （自動フォールバック）
	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯（2,400～2,484MHz）/ 1～13CH
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式
		伝送速度＊2	11/5.5/2/1Mbps （自動フォールバック）
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯（2,400～2,484MHz）/ 1～13CH
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式/ 搬送波数52
		伝送速度＊2	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）
	セキュリティ ＊3		SS-ID、WEP（128/64bit）、WPA-PSK（TKIP）、WPA-PSK（AES） ※Draft IEEE802.11nではWPA-PSK（AES）のみ対応になります
	通信モード＊4		アクセスポイント通信
	その他機能		ユーティリティ（サテライトマネージャ）対応
ヒューマン インタフェース	状態表示ランプ		状態表示LED×1（ACT）、LED色：緑色
利用可能OS			Windows Vista®（Service Pack 1含む）日本語版かつ32ビット（×86）版、 Windows® XP（Service Pack 1～3）日本語版、 Windows® 2000 Professional（Service Pack 1～4）日本語版
認証			端末機器認証、特定無線設備の認証
電源			DC＋5V×500mA（パソコンから給電）
消費電力			2.5W（最大）

項　目	諸元および機能
外形寸法（キャップを除く）	約25（W）×85（D）×12（H）mm
質量（本体のみ）	約0.02kg
動作環境	温度0～40℃、湿度10～90%（結露しないこと）

＊1：USB1.1の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0でのご使用をお勧めします。動作確認パソコンはAtermStation（http://121ware.com/aterm/）をご覧ください。WL300NU-GのUSBハブとの接続は保証の限りではありません。

＊2：規格による理論値上の速度であり、ご利用の環境や接続機器などにより実際のデータ速度は異なります。

＊3：Windows Vista® およびWindows® XP のワイヤレスネットワークの設定を利用する場合は、利用できる暗号化モードに注意してください。
〈TKIP、AESの場合〉
Windows Vista® またはWindows® XP（Service Pack 2または3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

＊4：WL300NU-Gでは、アドホック通信をご利用になれません。

別売りオプション

オプションとして次の製品を別売しています。（製造終了となっている商品もあります。ご了承ください。）

■無線 LAN カード
Aterm WL300NC-G（PA-WL300NC/G）
Aterm WL54GC（PA-WL54GC）
Aterm WL54SC2（PA-WL54SC2）、Aterm WL54SC（PA-WL/54SC）
Aterm WL300NC（PA-WL300NC）、Aterm WL130NC（PA-WL130NC）
Aterm WL54AG（PA-WL/54AG）、Aterm WL11CB（PC-WL/11C（B））
Aterm WL11CA（PC-WL/11C（A））、Aterm WL11C（PC-WL/11C）
Aterm WL11C2（PA-WL/11C2）、Aterm WL54AG-SD（PA-WL/54AG-SD1）

■無線 USB スティック（USB2.0 推奨）
Aterm WL300NU-G（PA-WL300NU/G）
Aterm WL54GU（PA-WL54GU）
Aterm WL54SU2（PA-WL54SU2）
Aterm WL54SU（PA-WL/54SU）
Aterm WL54TU（PA-WL/54TU）
パソコンの USB ポートに接続します。

■無線 LAN USB ボックス
Aterm WL11U（PC-WL/11U）
Aterm WL11U（W）（PC-WL/11U（W））
パソコンと USB で接続します。

■イーサネットコンバータ、無線 LAN ETHERNET ボックス
Aterm WL54SE2（PA-WL54SE2）、Aterm WL54SE（PA-WL/54SE）
Aterm WL54TE（PA-WL/54TE）、Aterm WL11E2（PA-WL/11E2）
パソコンと ETHERNET ケーブルで接続します。
※ WL11E2 での暗号化は、WEP（64bit/128bit）のみになります。

■ワイヤレス LAN 外部アンテナ
（WL54AG 用）（PA-WL/ANT3）
※WL300NC-G、WL300NC、WL130NC、WL54SC2、WL54SC、WL54GC では使用できません。

電波状態が悪いときなど、WL54AG（無線 LAN カード）に接続して使用します。（WL54AG（S）、WL54AG-SD も含みます。）
ただし、周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、改善状態は異なります。（改善できないこともあります。）

お知らせ

- オプション品は、お近くの販売店のほか、オンラインショップ Shop@Aterm(http://shop.aterm.jp/)でもご購入いただけます。
- WL11C/WL11U/WL11U（W）での暗号化は WEP（64bit）のみ対応になります。
- WR4500N は IEEE802.11a での通信はご利用になれません。IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信でご利用ください。
- Draft IEEE802.11n に対応した無線 LAN 端末（子機）と無線通信する場合、伝送速度は最大 150Mbps（規格値）となります。

索引

(www)マークの項目については、ホームページに公開している「(www)機能詳細ガイド」で説明しています。

［マ行］

［ヤ行］

［ラ行］

MEMO

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

● 廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載･無断複写することは禁止されています。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り･記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5）セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
（6）せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

AtermStation ホームページアドレス

Aterm（エーターム）インフォメーションセンター

お願い

- お問い合わせの前に、あてはまる症状がないか「トラブルシューティング」（☛P78）をご確認ください。
- お問い合わせになるときには、次のことをお伝えください。
  - ●お名前
  - ●電話番号
  - ●本商品の機種名
  - ●添付の CD-ROM のバージョン
  - ●ファームウェアのバージョン
  - ●ユーティリティのバージョン
  - ●パソコンの機種名
  - ●ご使用のOS(Windows Vista ® および Windows ® XP など)
  - ●詳しい症状、メッセージが表示されていたらその内容など
- **パソコンの設置や操作方法**などについてのお問い合わせは、**各パソコンのサポートセンター**などへお願いいたします。
- **回線接続の条件**などについてのお問い合わせは、**各通信事業者またはプロバイダ**へお願いいたします。
- **アフターサービス**については、**別紙（「お問い合わせ・アフターサービス」）**をご参照ください。

この取扱説明書は、古紙配合の再生紙を使用しています。

NECアクセステクニカ株式会社

Aterm WR4500N取扱説明書　第1版

AM1-001014-001
2008年10月